

算  
盤  
見  
安  
免

4297  
= 2





おれこのよりの道はたよりふ志この心はたのうこけ  
のわさ(山口)乃れわさるるを人をもすみ也はさるるは  
あ有るれとてさる友の法書を物とてさるるのり  
道のさるのさるをさるあみなるむいさるるのり  
いこのさるさる人の見えおれさるのさるさる  
あさるれいあさはあさるすくくそや

嘉永元年四月

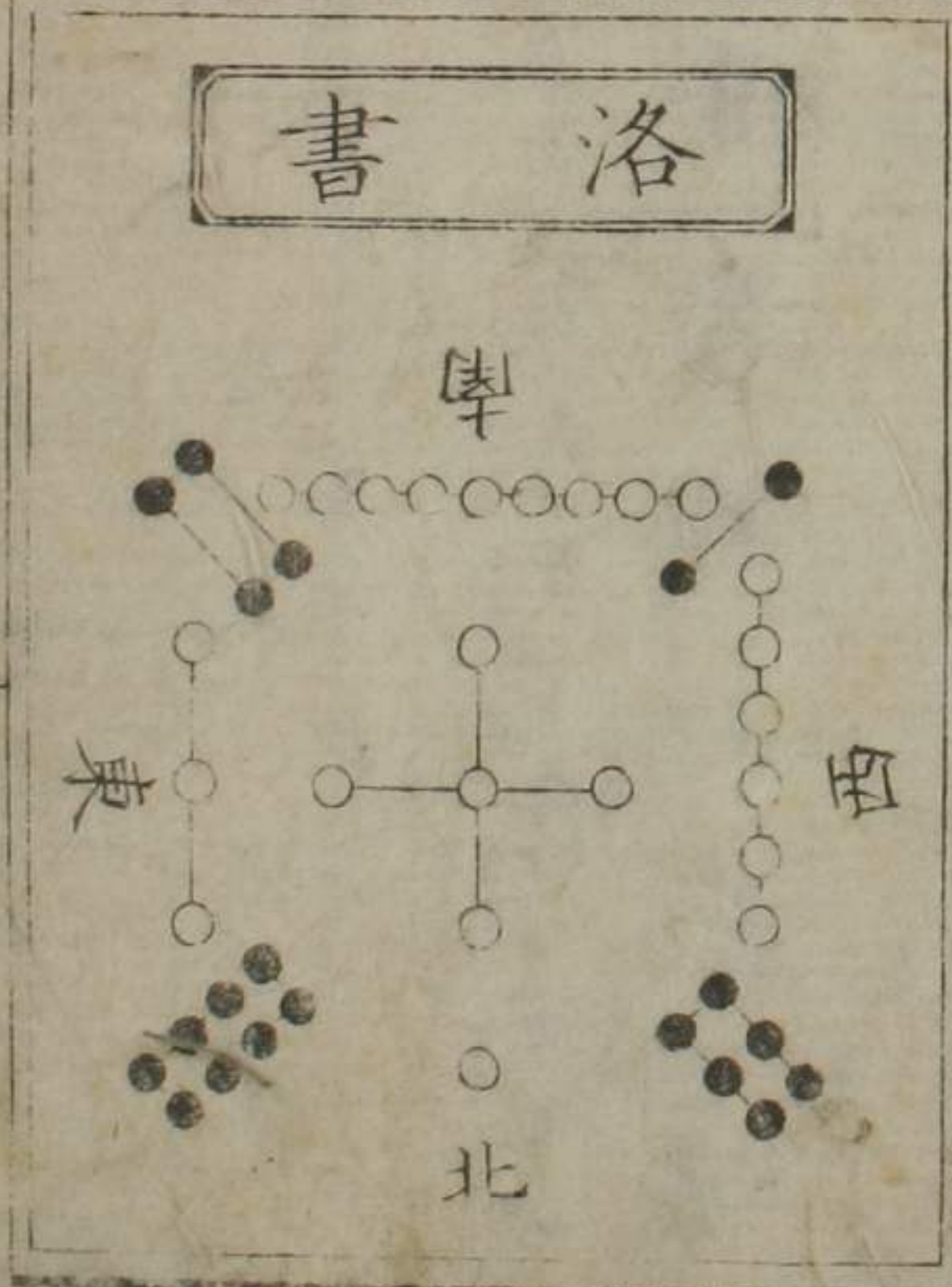
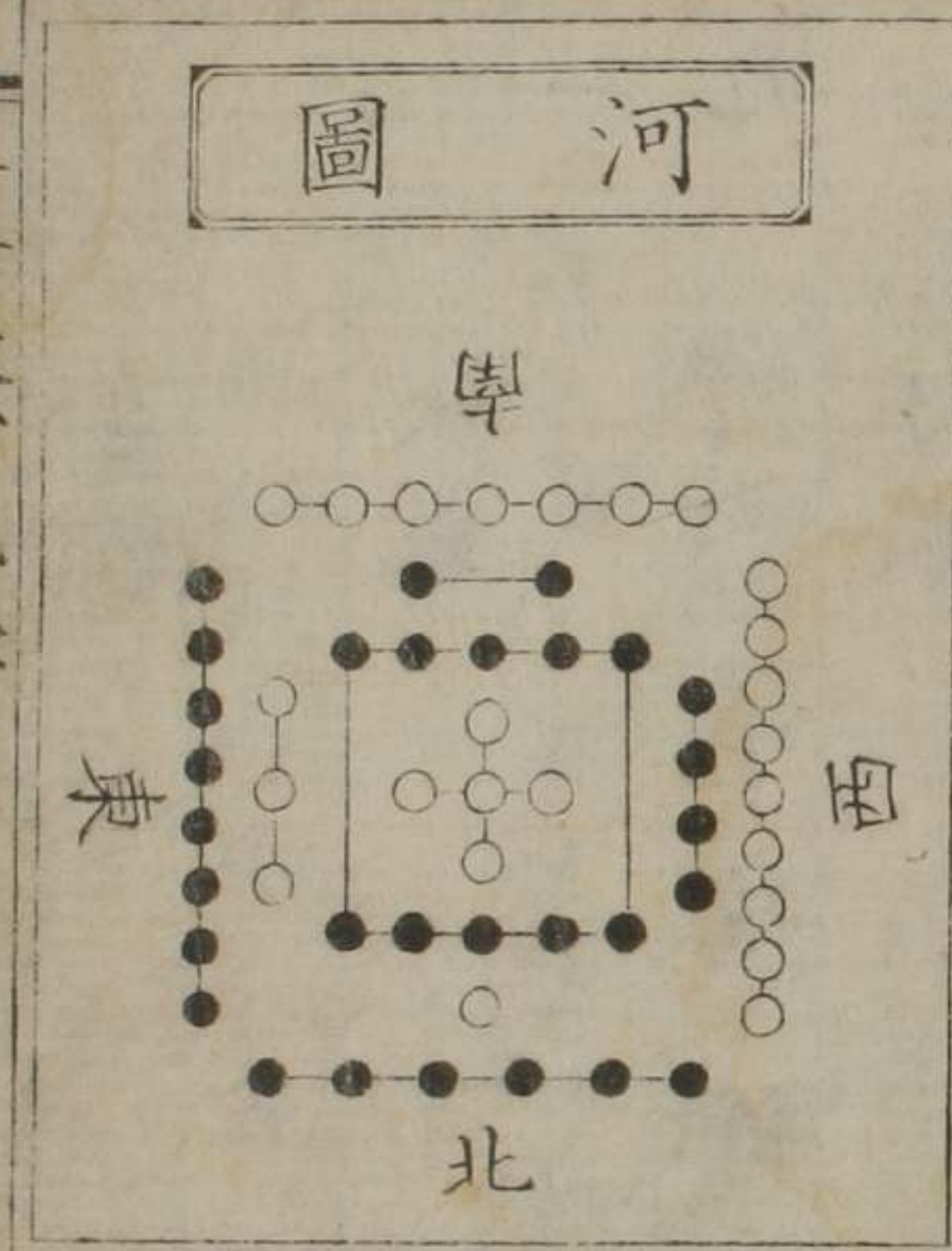
常陸守同  
小野友五郎 慶胖

算盤見安

東都

長谷川先生著

○ 河圖洛書之圖



○ 基数

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

○ 大數

一 十 百 千 万 億 萬 載 極

兆 万億を以て 后是は億

○ 小數

分 釐 毫 絲 忽 微 纖 沙 塵 埃 渺 漠

忽 十釐を以て

○ 度

丈 尺 寸 分 釐 毫 絲 忽 端 匹

釐 十尺を以て 以上大數を用 十寸を以て 十分を以て 十釐を以て 十忽を以て 二端を以て

○ 量

石 斗 升 合 勺 抄 撮 圭 粟

○ 衡

貫 百 十 錢

○ 畝

步 畝 段 町

○ 諸物輕重

金 銀 鍍 銅 鈿 土 朱 水

○ 九九合數

一一 一一 一二 二 一一 三 三 一一 四 四 一一 五 五

算盤

一六六	一七七	一八八	一九九	二二四
二三六	二四八	二五九	二六十二	二七十四
二八十六	二九十八	三三九	三四十二	三五十五
三六十八	三七二十一	三八二十四	三九二十七	四四十六
四五二十	四六二十四	四七二十八	四八三十二	四九三十六
五五二十五	五六三十	五七三十五	五八四十	五九四十五
六六三十六	六七四十二	六八四十八	六九五十四	七七四十九
七八五十六	七九六十三	八八六十四	八九七十二	九九八十一
一の割	一進一十	二の割	二一添作五	二進一十
三の割	三一三十一	三二六十二	三進一十	四の割

○九歸法

四一二十二	四二添作五	四三七十二	四進一十	五の割
五一加一	五二加二	五三加三	五四加四	五進一十
六の割	六一加四	六二三十二	六三添作五	六四六十四
六五八十二	六進一十	七の割	七下加三	七二下加六
七三四十二	七四五十五	七五七十一	七六八十四	七進一十
八の割	八一下加二	八二下加四	八三下加六	八四添作五
八五六十二	八六七十四	八七八十六	八進一十	九の割
九一下加一	九二下加二	九三下加三	九四下加四	九五下加五
九六下加六	九七下加七	九八下加八	九進一十	

○撞除法

見一無頭作九一 歸一倍一 見二無頭作九二 歸一倍二

見三無頭作九三	歸一倍三	見四無頭作九四	歸一倍四
見五無頭作九五	歸一倍五	見六無頭作九六	歸一倍六
見七無頭作九七	歸一倍七	見八無頭作九八	歸一倍八
見九無頭作九九	歸一倍九		

○加 増し添ふをいふ

加 法	一 小九加の十	二 小八加の十	三 小七加の十	四 小六加の十
	五 小五加の十	六 小四加の十	七 小三加の十	八 小二加の十
				九 小一加の十

今米拾二万二千四百六拾六石七斗八升九合（九拾六分七厘六忽）拾四石二斗  
式升一合を加て何程と同

布算の法ハ先 右 拾一萬石と一斗一升  
①の柄へ下めて顆一ツ重拾萬石と一斗一升

算盤の圖

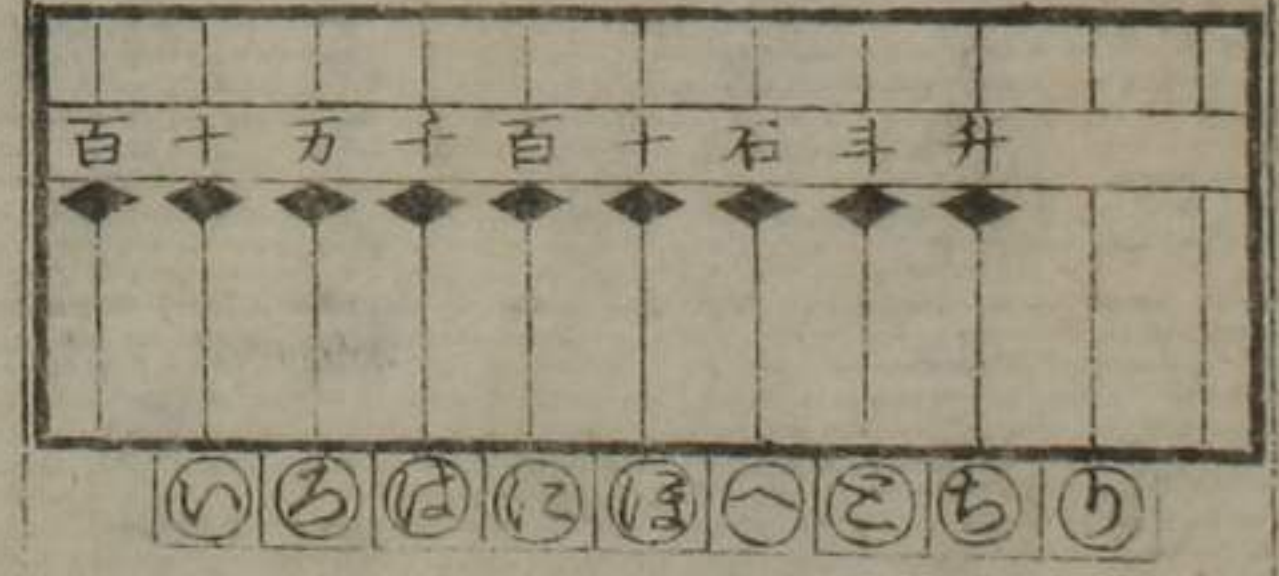


- ① 一の柄へ上の十と下の十を掛
- ② 二の柄へ上の十と下の十を掛
- ③ 三の柄へ上の十と下の十を掛
- ④ 四の柄へ上の十と下の十を掛
- ⑤ 五の柄へ上の十と下の十を掛
- ⑥ 六の柄へ上の十と下の十を掛
- ⑦ 七の柄へ上の十と下の十を掛
- ⑧ 八の柄へ上の十と下の十を掛
- ⑨ 九の柄へ上の十と下の十を掛

⑩の柄へ上の五顆を並み十石と一斗一升の柄へ上の五顆と下の顆二ツを並み七斗一升の柄へ上の五顆と下の顆二ツを並み八斗一升の柄へ上の五顆と下の顆四ツを並み九合と一斗一升の柄へ上の五顆と下の顆四ツを並み拾二万二千四百六拾六石七斗八升九合と一斗一升の柄へ上の五顆と下の顆四ツを並み

加の入の圖

拾二万三千四百又拾六石七斗八升  
九合へ九拾八万七千六百又拾四石  
三斗二升一合を加へて百拾一万  
千百拾一石一斗一升とある下の如く



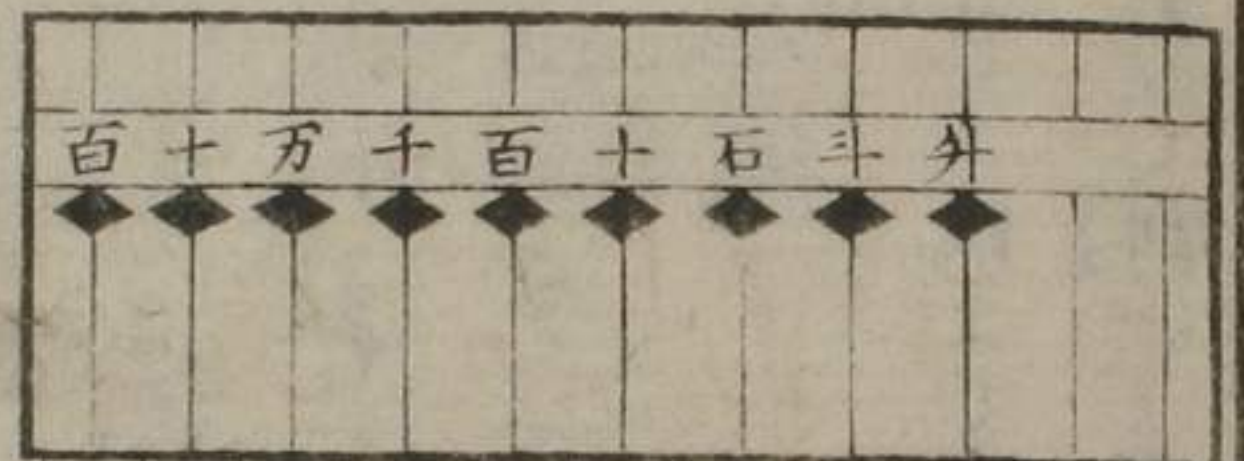
○減 多き内少きを去るなり

減法

一引て九残 二引て八残 三引て七残 四引て六残  
五引て五残 六引て四残 七引て三残 八引て二残 九引て一残

今米百拾一万千百拾一石一斗一升の内九拾八万七千六百又十四石二斗二升一合引残り何程と問

布算の圖



- ① 一引て九減るとしては一を拂ひぬの柄へ九を
- ② 二引て八減るとしては二を拂ひぬの柄へ八を加へて九となる
- ③ 三引て七減るとしては三を拂ひぬの柄へ七を加へて八となる
- ④ 四引て六減るとしては四を拂ひぬの柄へ六を加へて七となる
- ⑤ 五引て五減るとしては五を拂ひぬの柄へ五を加へて六となる
- ⑥ 六引て四減るとしては六を拂ひぬの柄へ四を加へて五となる
- ⑦ 七引て三減るとしては七を拂ひぬの柄へ三を加へて四となる
- ⑧ 八引て二減るとしては八を拂ひぬの柄へ二を加へて三となる
- ⑨ 九引て一減るとしては九を拂ひぬの柄へ一を加へて二となる

布算の法は先づ百石の内九拾万石引とれ九引て一減るとして一の柄の一を拂ひぬの柄へ下の顆ニッ加へて二とあるは内八万石を引とれ八引て二減るとして一の柄の一を拂ひぬの柄へ下の顆ニッ加へて三となるは内七千石を引とれ七引て三減るとして一の柄の一を拂ひぬの柄へ下の顆ニッ加へて四となるは内六百石を引とれ六引て四減るとして一の柄の一を拂ひぬの柄へ

下の顆四ツ加へてみるとあるは内五十石を引きたり引くは内あるといひて(四)の顆を  
 一を拂ひ(一)の顆へ上の五顆を加へ六となるは内四石を引きたり引くは内ある  
 といひて(一)の顆を二を拂ひ(二)の顆へ上の五顆と下の顆一ツ加へて七となる  
 は内三斗引きたり引く七あるといひて(三)の顆を三を拂ひ(三)の顆へ上の五顆と  
 下の顆二ツ加へて八となるは内二斗引きたり引く八あるといひて(四)の顆を四を  
 拂ひ(四)の顆へ上の五顆と下の顆三ツ加へ九となるは内一合引きたり引く九ある  
 といひて(四)の顆を五を拂ひ(五)の顆へ上の五顆と下の顆四ツ加へて九となる  
 仍ており拾二万二千四百五十六石七斗八升九合とあるなり

九歸

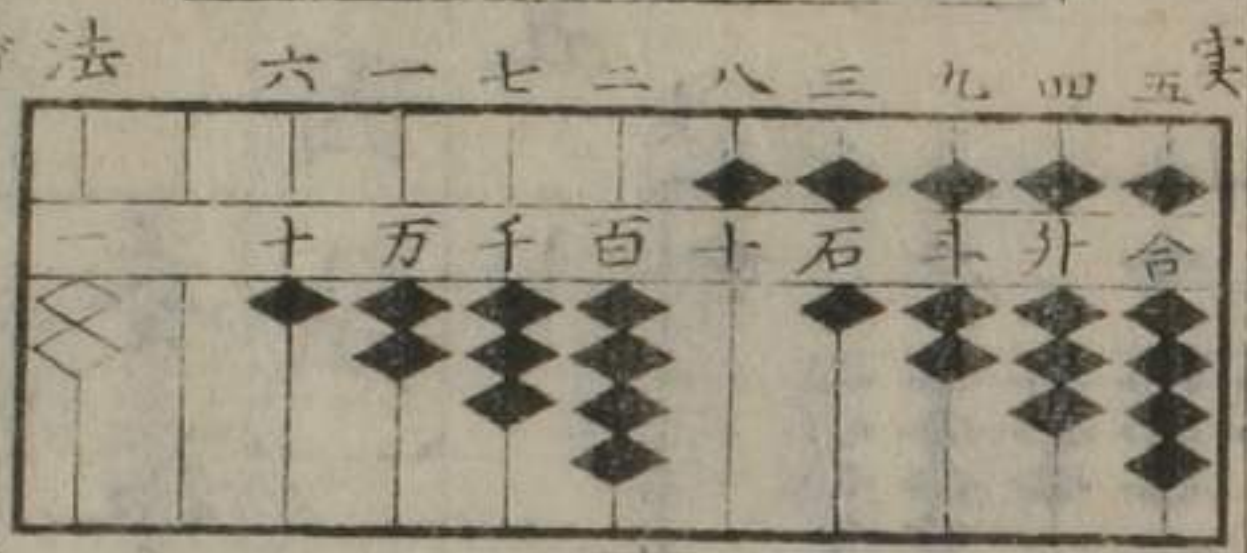
初段より九の段までを九歸といひ二の段より九の段までを八算といひ歸と  
 法一位を以て割をいへ乗ても除ても其得所の商原数の如く仍て一歸の法を略す

今米拾二万二千四百五十六石七斗八升九合を二割何程と同

答 六万七千二百二十八石二斗九升四合五分

法 二一添作五進一十

割算の圖



八を四十といひては内八を引きたり引くは内あるといひて(四)の顆を  
 八を四十といひては内八を引きたり引くは内あるといひて(四)の顆を  
 六を三十といひては内六を引きたり引くは内あるといひて(三)の顆を  
 六を三十といひては内六を引きたり引くは内あるといひて(三)の顆を  
 四を二十といひては内四を引きたり引くは内あるといひて(二)の顆を  
 四を二十といひては内四を引きたり引くは内あるといひて(二)の顆を  
 二を十といひては内二を引きたり引くは内あるといひて(一)の顆を  
 二を十といひては内二を引きたり引くは内あるといひて(一)の顆を  
 二天作五といひては一を五まつる

御曰実へ拾二万二千四百五十六石七斗八升九合は二を  
 又次の二の内二進が二十と割おりを二天他めと割又次の四を四進が二十と次第



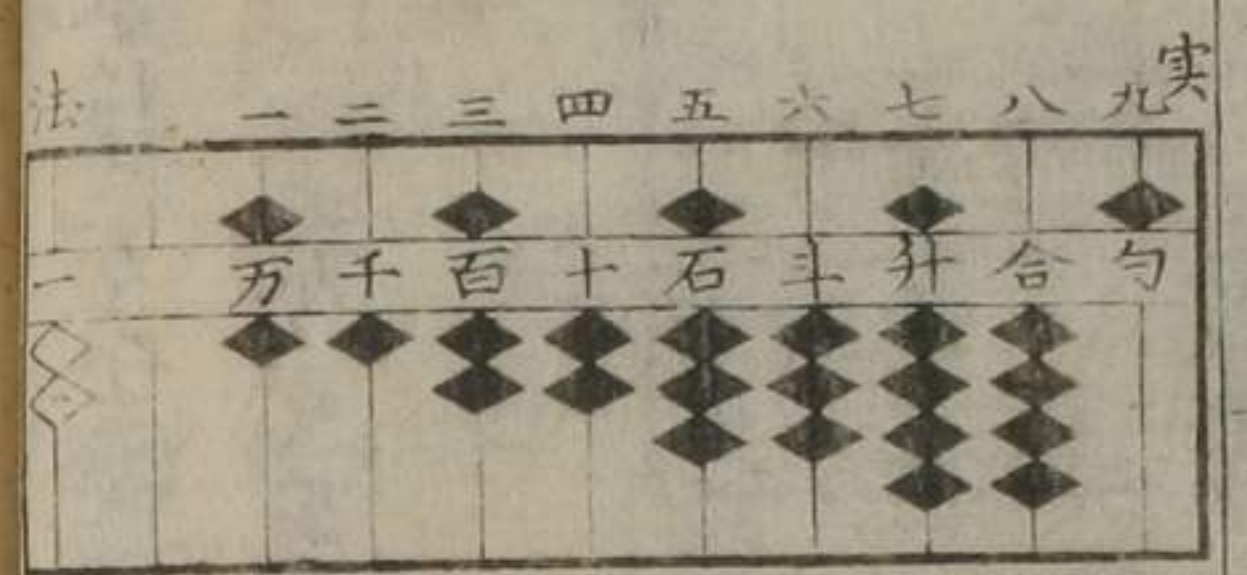
算盤 算盤 算盤

圖の如く割六万子七百二十八石二斗九升は合み与と初るあり  
 今米六万子七百二十八石二斗九升は合み与と二ッ合て何程と同

答拾二万子四百六拾六石七斗八升九合

二因法 一 二 二 二 二 四 二 三 六 二 四 八  
 二五 十 二六 十二 二七 十四 二八 十六 二九 十八

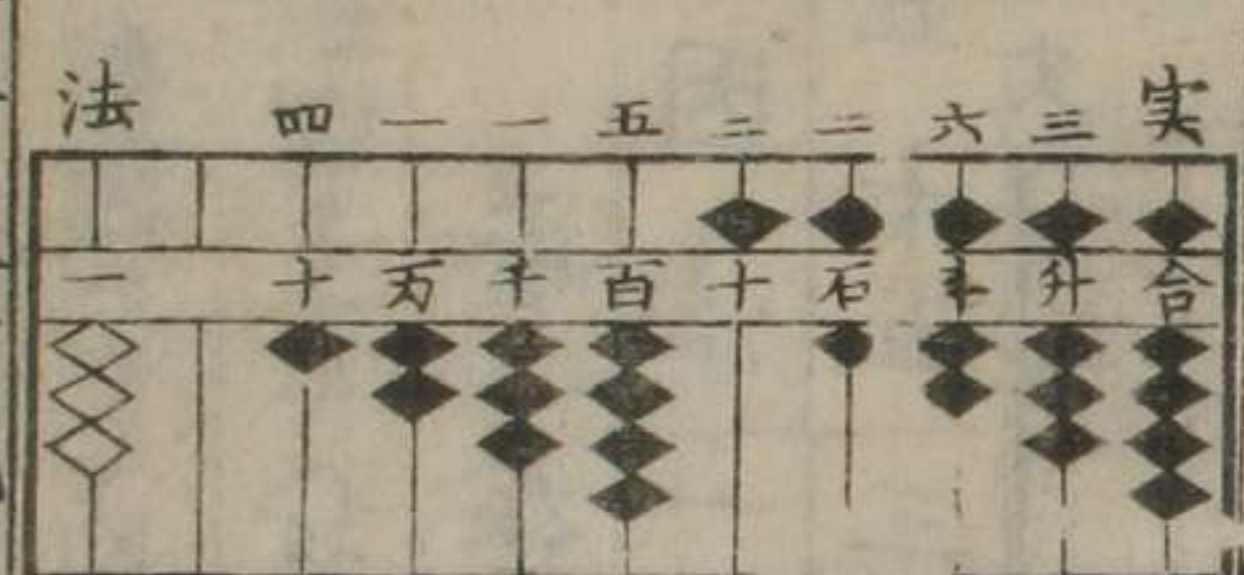
掛算の圖



二十五といひて五を二よつろ。  
 二四八といひて四を二よつろ右へ八くりり  
 二九八といひて八を二よつろ右へ八くりり  
 二三六といひて三を二よつろ右へ六くりり  
 二八六といひて八を二よつろ右へ六くりり  
 二二四といひて二を二よつろ右へ四くりり  
 二七十四といひて七を二よつろ右へ四くりり  
 二六十二といひて六を二よつろ右へ二くりり  
 二六十二といひて六を二よつろ右へ二くりり

御日實六万子七百二十八石二斗九升は合み与と二重法二を

割算の圖



九を三十といひて九を三よつろ左へ三くりり  
 九を三十といひて九を三よつろ左へ三くりり  
 六を三十といひて六を三よつろ左へ三くりり  
 六を三十といひて六を三よつろ左へ三くりり  
 六を三十といひて六を三よつろ左へ三くりり  
 三を二十といひて三を二よつろ左へ二くりり  
 三を二十といひて三を二よつろ左へ二くりり  
 三を二十といひて三を二よつろ左へ二くりり  
 三を二十といひて三を二よつろ左へ二くりり  
 三を二十といひて三を二よつろ左へ二くりり

御日實拾二万子四百六拾六石七斗八升九合を二重法へ

重法は二と實の尾のみのと見合二五と五と又法は二と實の尾と見合二四八と  
 是次第算圖の如くを二重法に用ひて六石七斗八升九合を知るあり  
 今米拾二万子四百六拾六石七斗八升九合を二ッ合て何程と同

三歸法 三一 三十一 三二 六十二 三進一十

算盤 算盤 算盤

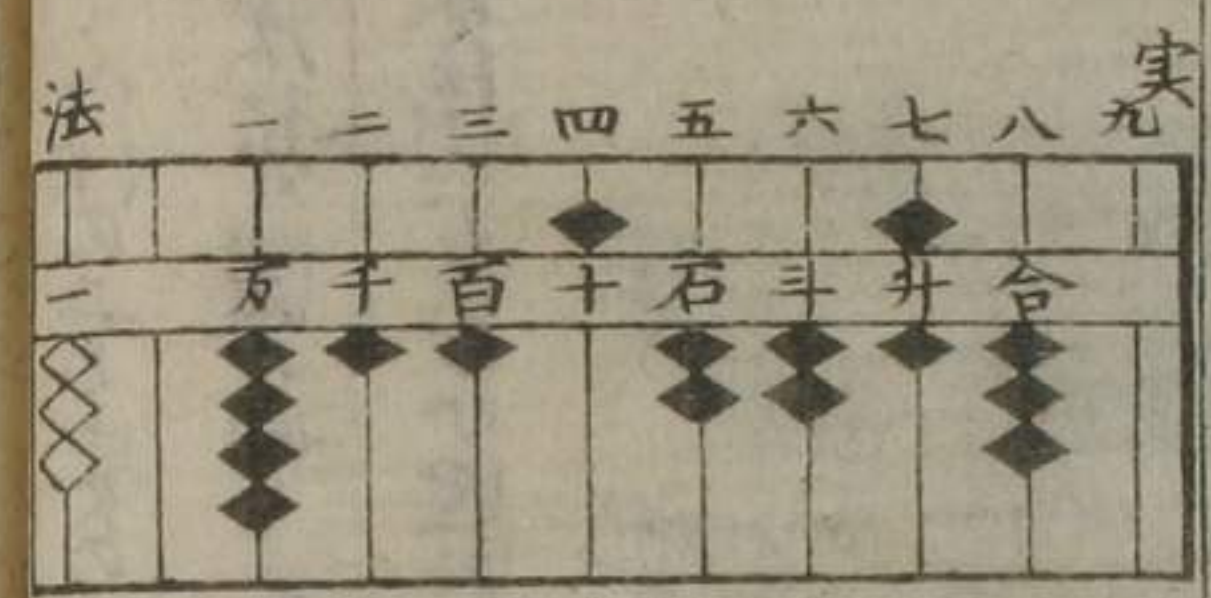
二を魚圖の如く割は万子百に指二石二升六分三厘と知るなり

今米四万子百に指二石二升六分三厘を三ツ合て何種と同

答 拾二万子百に指六石七升八分九厘

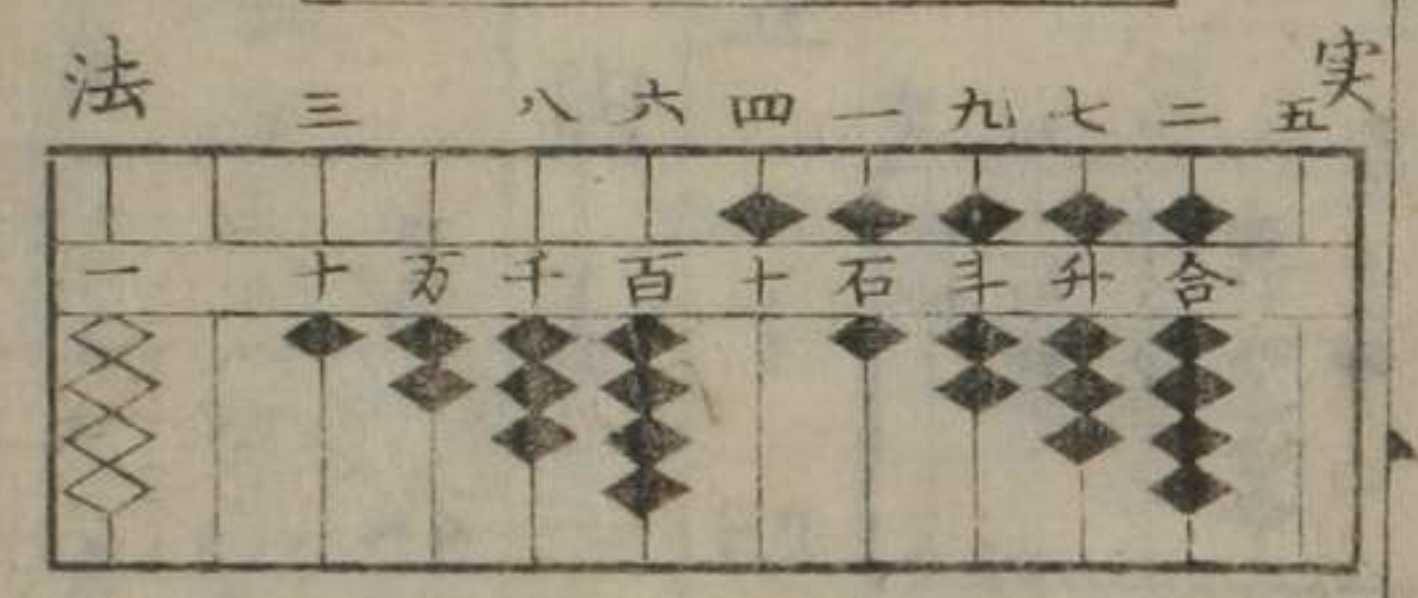
三五十五	三六十八	三七二十一	三八二十四	三九二十七
三因法	一三三	二三六	三三九	三四十二

掛算の圖



樹曰實一四万子百に指二石二升六分三厘を並法へ二を並  
 三三九とひては三をえりひ次のくは九なり  
 三六八とひては六をえりひ次のくは八なり  
 三三六とひては六をえりひ次のくは六なり  
 二二六とひては六をえりひ次のくは六なり  
 三五五とひては五をえりひ次のくは五なり  
 三三三とひては三をえりひ次のくは三なり  
 三三三とひては三をえりひ次のくは三なり  
 三三三とひては三をえりひ次のくは三なり  
 三三三とひては三をえりひ次のくは三なり

割算の圖



樹曰實一拾二万子百に指六石七升八分九厘を四ツ小割何種と同  
 四三作五とひては二を五ひつる  
 八を千とひては内八をひき左に二なり 四三三とひては三を三ひき左に二なり  
 八を千とひては内八をひき左に二なり 四二天作五とひては二を五ひつる  
 四を千とひては内四をひき左に二なり 四三三とひては三を三ひき左に二なり  
 八を千とひては内八をひき左に二なり 四三三とひては三を三ひき左に二なり  
 四を千とひては内四をひき左に二なり 四三三とひては三を三ひき左に二なり  
 四三三とひては三を三ひき左に二なり 四三三とひては三を三ひき左に二なり  
 四三三とひては三を三ひき左に二なり 四三三とひては三を三ひき左に二なり

圖の如くを拾二万子百に指六石七升八分九厘と知るなり

今米拾二万子百に指六石七升八分九厘を四ツ小割何種と同

答 三万〇八百六拾四石二升七分七厘二勺又抄

四歸法 四一二十二 四二添作五 四三七十二 四進一十

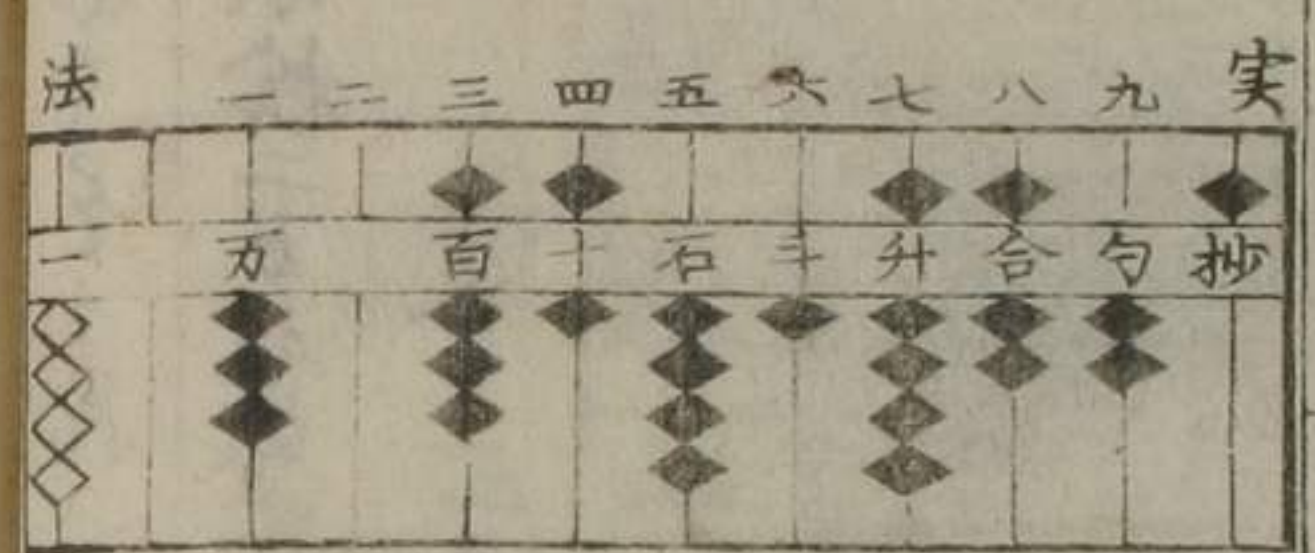
二算盤  
二算盤  
二算盤

四を並圖の如く割る方〇八百六拾四石九升七合二勺又抄と知るあり  
今米三方〇八百六拾四石九升七合二勺又抄を四ッ合て何種と同

答 拾二方二子四百六拾六石七升八升九合

四	因	法	一	四	四	二	四	八	三	四	十二	四	四	十六
四	五	二	十	四	六	二	十	四	七	二	十	八	四	八
四	五	二	十	四	六	二	十	四	七	二	十	八	四	八

掛算の圖



四五二十 四六二十四 四七二十八 四八三十二 四九三十六  
四五二十とては五を二ふつくる  
四八は二を十とては二を二ふつくる  
四七二十八とては七を二ふつくる  
四九三十六とては九を三ふつくる  
一四とては四を二ふつくる  
四四十六とては四を二ふつくる  
四六二十四とては六を二ふつくる  
四八三十二とては八を三ふつくる  
三四十二とては三を二ふつくる

御曰実(三方〇八百六拾四石九升七合二勺又抄を並

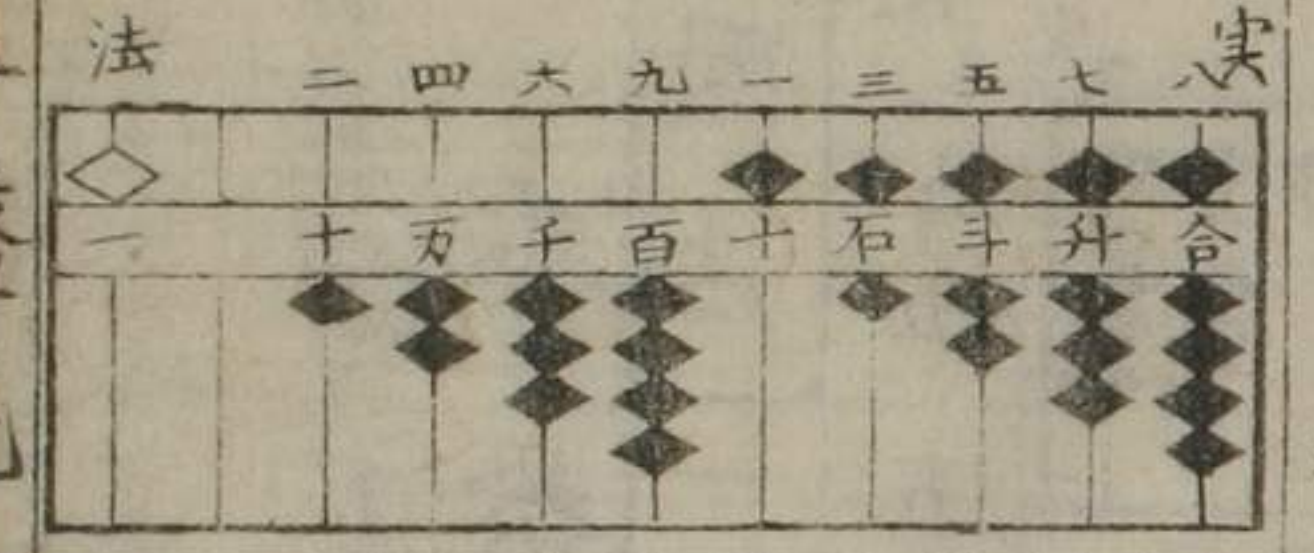
法(四を並圖の如く)を拾二方二子四百六拾六石七升八升九合と知るあり

今米拾二方二子四百六拾六石七升八升九合を四ッ合て何種と同

答 二方二子六百九拾一石二升八升七合八勺

五	三	加	三	五	四	加	四	五	進	一	十
五	歸	法	五	一	加	一	五	二	加	二	

割算の圖



五を十とては五を二ふつくる  
五を二十とては五を二ふつくる  
五を三十とては五を三ふつくる  
五を四十とては五を四ふつくる  
五を五十とては五を五ふつくる  
五を六十とては五を六ふつくる  
五を七十とては五を七ふつくる  
五を八十とては五を八ふつくる  
五を九十とては五を九ふつくる  
五を十とては五を二ふつくる  
五を二十とては五を四ふつくる  
五を三十とては五を六ふつくる  
五を四十とては五を八ふつくる  
五を五十とては五を十ふつくる

御曰実(拾二方二子四百六拾六石七升八升九合を並法)

算盤身

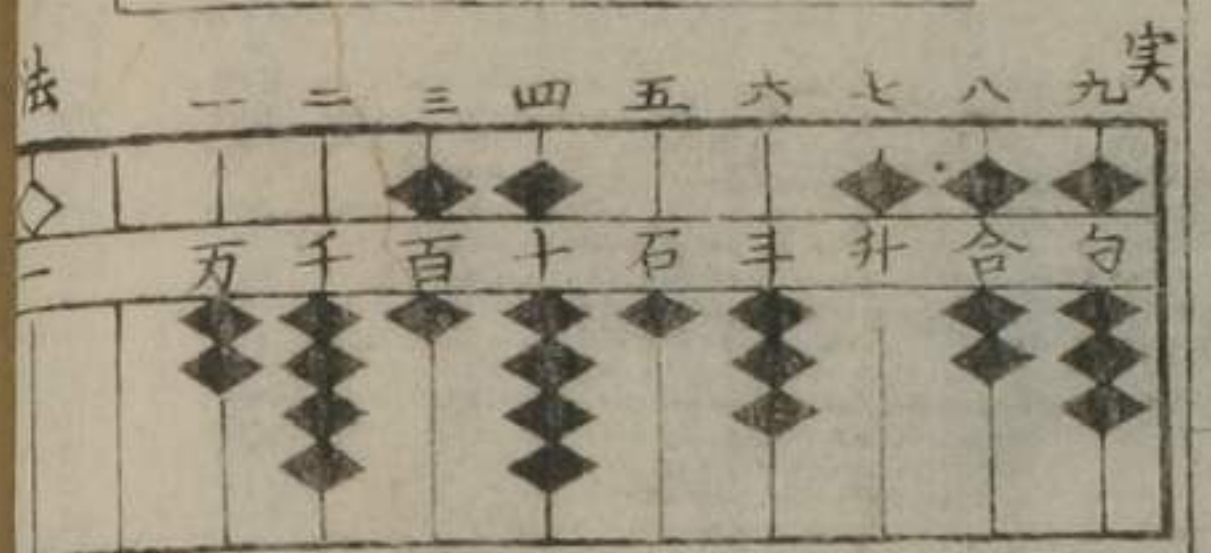
みを並圖の如く割二万四千六百九拾一石二升八勺とあるなり

今米二万四千六百九拾一石二升八勺をみり合て何種と同

答 拾二万二千四百六拾六石七升九合

五五二十五	一五五	二五	三五	四五	五五
五六三十	二五	三五	四五	五五	六五
五七三十五	三五	四五	五五	六五	七五
五八四十五	四五	五五	六五	七五	八五
五九四十五	五五	六五	七五	八五	九五

掛算の圖



五八四十のりては八を四ひく。  
 五七三十五のりては七を三ひく。次の々々五なり。  
 五五二十五のりては五を二ひく。次の々々五なり。  
 三五十五のりては三を一ひく。次の々々五なり。  
 一五五のりては一をさへひ次の々々五なり。  
 五九四十五のりては九を四ひつ。次の々々五なり。  
 一五三十三のりては六を三ひく。  
 四五二十のりては四を二ひく。  
 二五一のりては一をひく。

御田実(二万四千六百九拾一石二升八勺を並法(み)

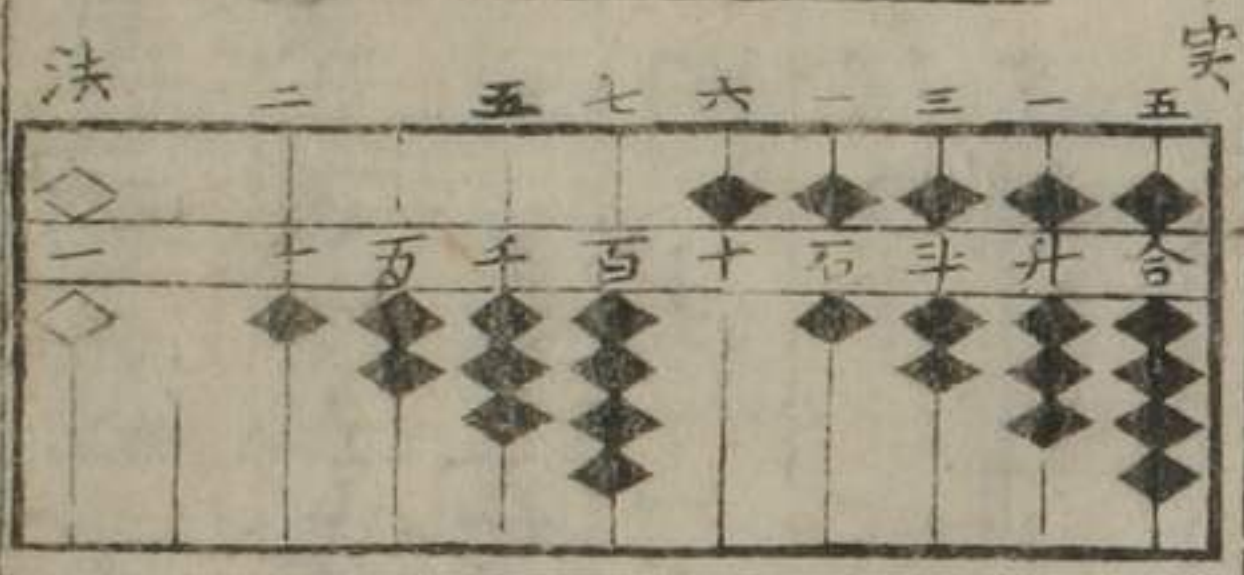
並圖の如くを拾二万二千四百六拾六石七升九合とあるなり

今米拾二万二千四百六拾六石七升八勺九合を六つ小割何種と同

答 二万二千四百七拾六石二升一合八勺

六四六十四	六一	下加四	六二	三十二	六三	添作五
六五八十二	六進	一十				

割算の圖



六を千のりては百をひく。左に六。六三作五のりては三を五ひく。  
 六を千のりては百をひく。左に六。又六を千と拾六をさへひく。左に六。  
 六を千のりては百をひく。左に六。六下加四のりては拾一を拾一ひく。左に四。  
 六を千のりては百をひく。左に六。六三作五のりては三を五ひく。  
 六四六十四のりては四を六ひつ。次の々々四なり。  
 六三作五のりては三を五ひく。  
 六を千のりては百をひく。左に六。  
 六下加四のりては二を拾六をさへひく。左に四。

御田実(拾二万二千四百六拾六石七升八勺を並法(み)

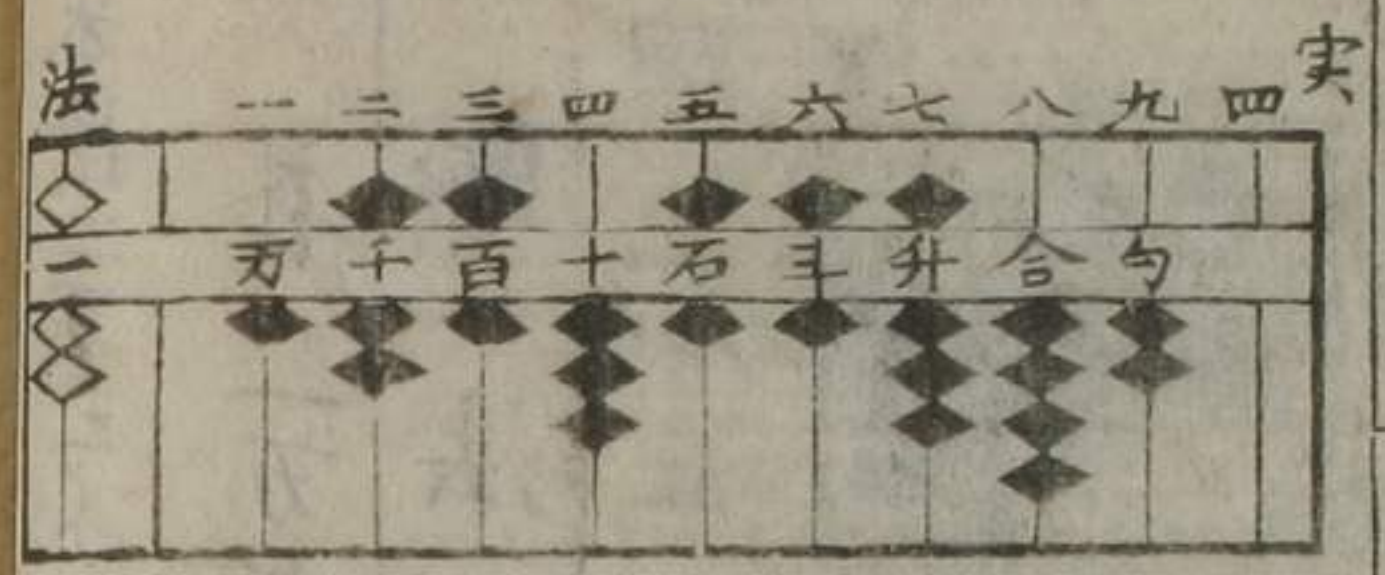


今米一万七千六百二拾六石六斗八升四合二勺を七ッ合て何極と同

答 拾二万三千四百六拾七石八升九合四勺

七因法	一七七七	二七十四	三七二十一	四七二十八
五七三十五	六七四十二	七七四十九	七八五十六	七九六十三

掛算の圖



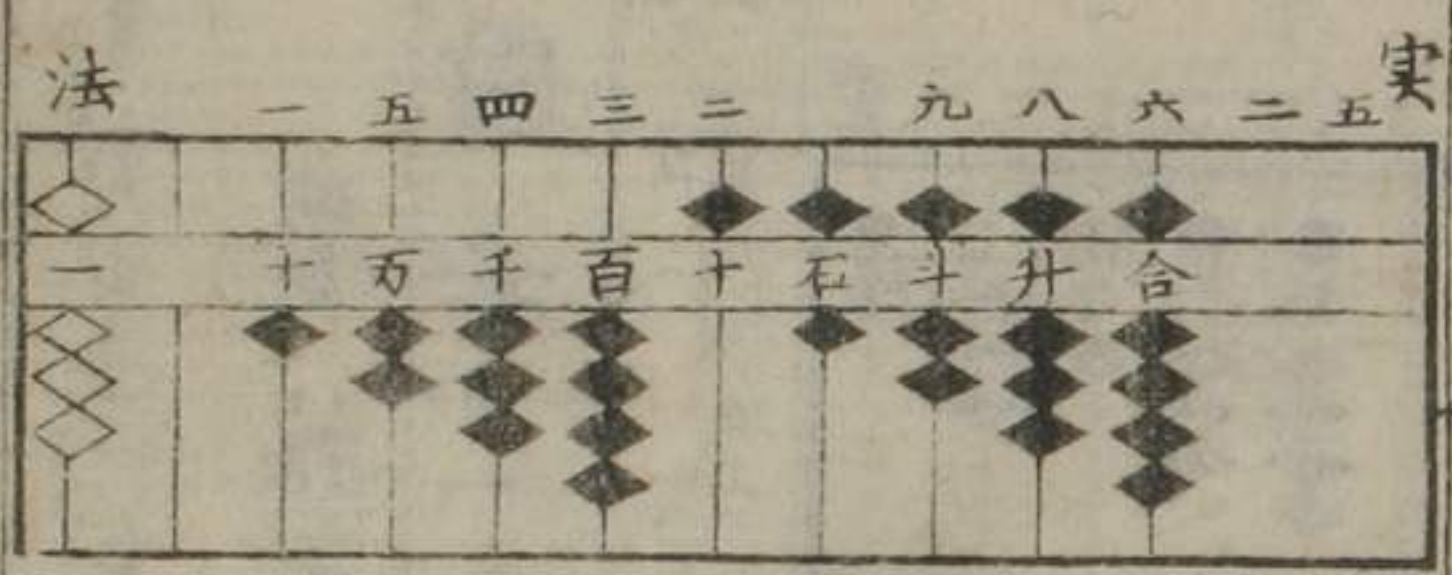
二七十四とては二を一かつり次の二を八とつり  
 四七二十八とては四を二かつり次の二を八とつり  
 七五十六とては八を五かつり次の二を八とつり  
 六七四十二とては六を四かつり次の二を八とつり  
 六七四十二とては六を四かつり次の二を八とつり  
 三七二十一とては三を二かつり次の二を八とつり  
 六七四十二とては六を四かつり次の二を八とつり  
 七七四十九とては七を四かつり次の二を八とつり  
 一七七三とては七を四かつり次の二を八とつり

今米拾二万三千四百六拾七石八升九合を八ッ割何極と同

答 一万三千四百六拾七石九升八合六勺二抄又撮

八歸法	八一下加二	八二下加四	八三下加六	八四添作五
八五六十二	八六七十四	八七八十六	八進一十	

割算の圖



八四天作五とては四を五かつり  
 八下加四とては二をばき、並次の二を八とつり  
 八を下とては内をひき、左に二つり、八五とては五を六かつり、次の二を八とつり  
 八を下とては内をひき、左に二つり、八六とては六を七かつり、次の二を八とつり  
 八七とては七を八かつり、次の二を八とつり  
 八八とては八を九かつり、左に二つり  
 八を下とては内をひき、左に二つり、八下加二とては二をばき、並次の二を八とつり  
 八を下とては内をひき、左に二つり、八下加四とては四をばき、並次の二を八とつり  
 八四天作五とては二を五かつり  
 八下加二とては二をばき、並次の二を八とつり

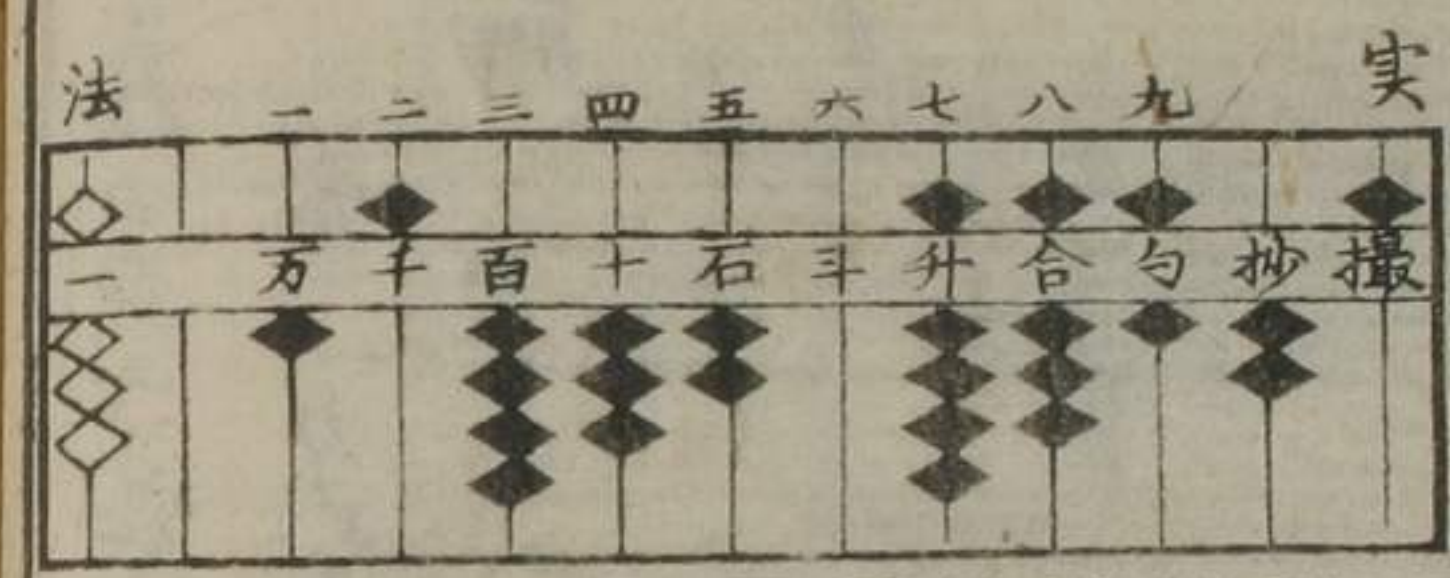
今米一萬五千四百三拾二石。九升八合六勺二抄又撮を八合にて何程と同

答 拾二万三千四百三拾六石七斗八升九合

八因法 一八八 二八十六 三八二十四 四八三十二

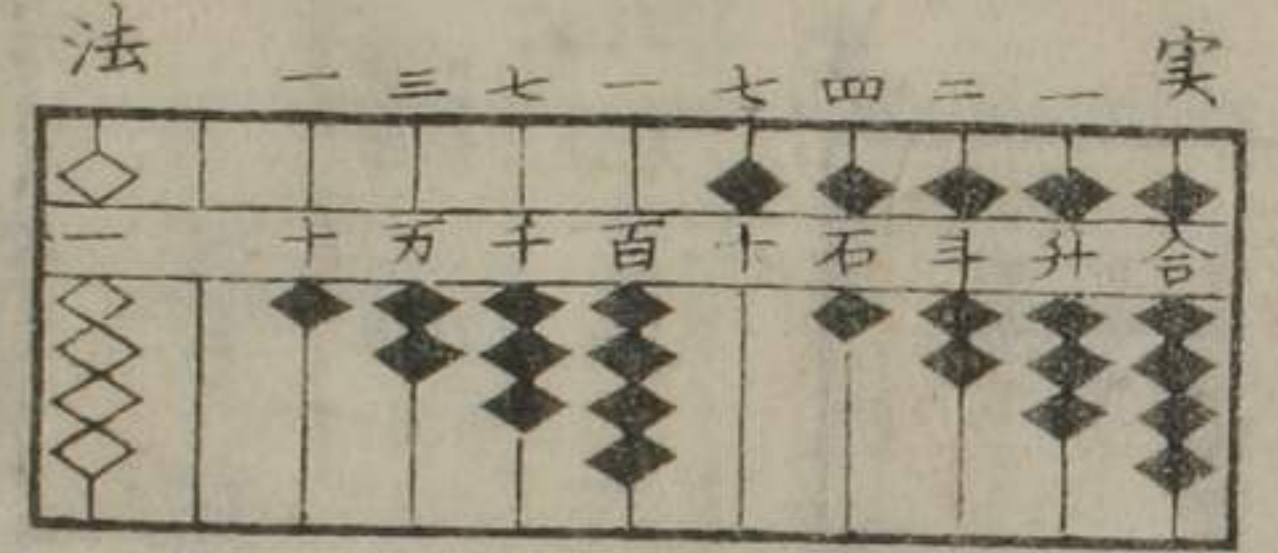
五八四十八 六八五十六 八八六十四 八九七十二

掛算の圖



五十四とひては五を四ふく。  
二十八とひては二を二ふく。次の々々(六)なり。  
三十八とひては三を二ふく。次の々々(四)なり。  
四十三とひては四を三ふく。次の々々(二)なり。  
五十四とひては五を四ふく。  
一八八は二たもの十とひては二を二ふく。後決の々々(二)なり。ひては二なり。ひては二なり。

割算の圖



今米拾二万三千四百三拾六石七斗八升九合を九ツぶ割何程と同

答 一万三千七百拾七石四斗二升一合

九歸法 九一下加一 九二下加二 九三下加三 九四下加四

九五下加五 九六下加六 九七下加七 九八下加八 九進一十

九を十とひては九を九ふく。左(一)なり。  
九を十とひては九を九ふく。左(二)なり。  
九を十とひては九を九ふく。左(三)なり。  
九を十とひては九を九ふく。左(四)なり。  
九を十とひては九を九ふく。左(五)なり。  
九を十とひては九を九ふく。左(六)なり。  
九を十とひては九を九ふく。左(七)なり。  
九を十とひては九を九ふく。左(八)なり。  
九を十とひては九を九ふく。左(九)なり。  
九を十とひては九を九ふく。左(十)なり。

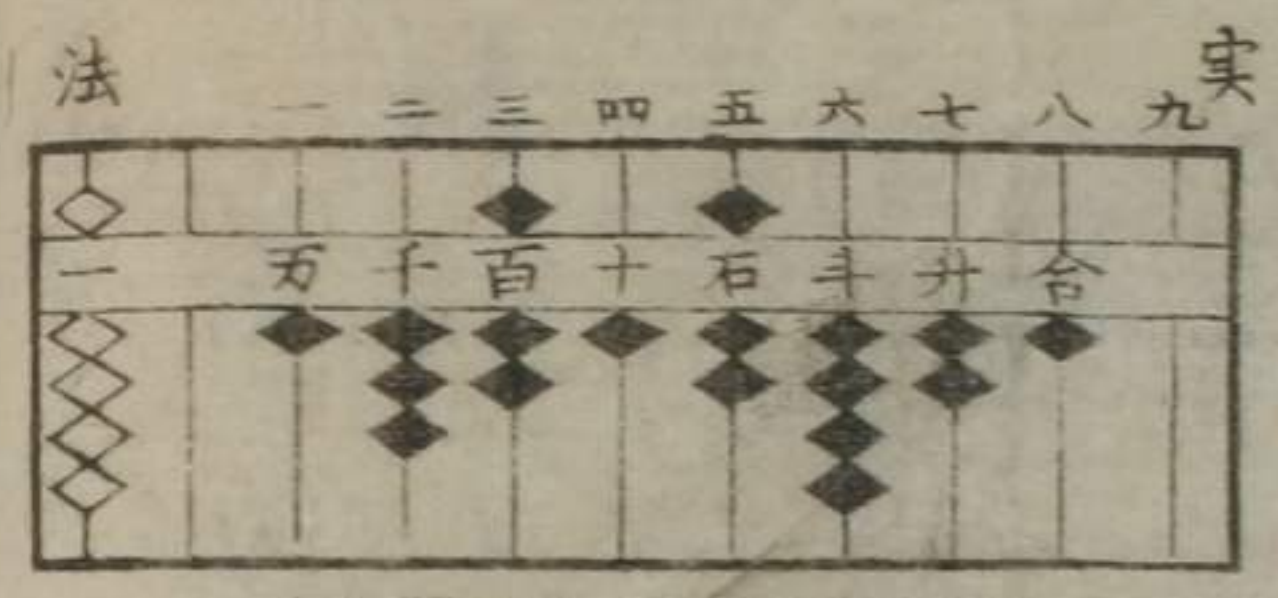
算盤具安

今米一万二千七百拾七石二升一合を九ツ合で何石と同

答 拾二万二千四百拾六石七升八升九合

九因法	一九九	二九十八	三九二十七	四九三十六
五九四十五	六九五十四	七九六十三	八九七十二	九九八十一

掛算の圖



一九九といひてはををひたのり九九くり  
 一九八といひては二を二ひたのり九九くり  
 四九三十六といひては四を三ひたのり九九くり  
 七九六十三といひては七を六ひたのり九九くり  
 一九九六の十といひては九を八ひたのり九九くり  
 七九六十三といひては七を六ひたのり九九くり  
 三九二七の十といひては三を二ひたのり九九くり  
 三九二七の十といひては三を二ひたのり九九くり  
 一九九六の十といひては九を八ひたのり九九くり

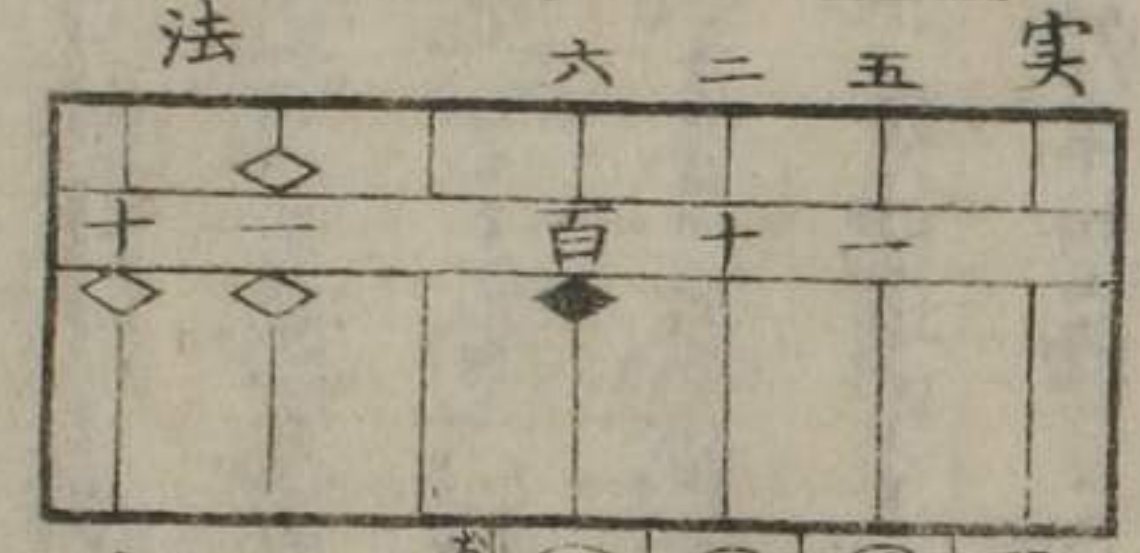
○ 歸除 俗小見一と

今銀百匁を十六小割何石と同

答 六匁二分五厘

見一歸除法 見一無頭作九 歸一倍 一進一十

割算の圖



① 見一無頭作九 歸一倍 歸一倍 歸一倍  
 ② 五進五十 五六三十引  
 ③ 二進二十 二六十二引八残  
 ④ 六六三十六引四残  
 凡法三桁以上を割るに法首の数を以て実首の数を割商を  
 得る其商と法の次の桁の数を次第に見合九九小引して実首を引終り又  
 次の商を求む割る初商の如く逐て法の如く次の商を求むなり

術曰 実百目を並法十六を並法の首の一より実の一を二進一と割る実小引

算盤具安

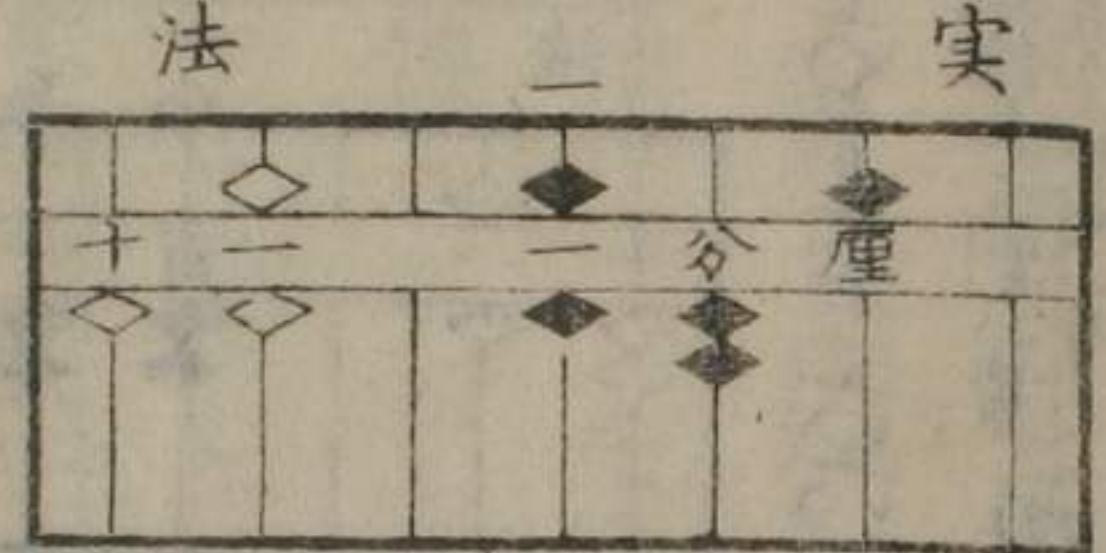


数あるゆゑ割とるが仍見一無頭作九一と割初商九を引る次の掛の  
 一残る初商九と法の六と見合引きたる商の次の位と引六九五十四八実より引ぬゆゑ一  
 倍一といひて商九の内一を引ひ次の掛二を加ひ商八と減次の掛二と減商八と  
 法の六と見合六八四八も又実より引ぬゆゑ一を二度引て返さるが  
 商六とあり次の掛四を引る商六と法の六と見合六六三十六引ば実より四残を法  
 首の二より四進四と割ば実より引ぬゆゑ四進四といふが仍二進二と割次の商  
 二を引る此商二と法の六と見合二六十二引ば実より八残を法の首の一より  
 五進五と割三の商五を引るが五と法の六と見合五六三十実より  
 引るがひ六も二分五厘と初るなり

今銀六分五厘を十六合で何程と同

答 百 八

掛算の圖



① 五六三十	② 二六二八たきの十	③ 六六三十六たきの十
④ 一五五	⑤ 一六六四たきの十	

凡法三桁以上を算るるは実の二桁法の桁数を引るが実の尾の  
 法の桁数を下りて十の位を加ふ桁より法の尾数と実の尾数と見合  
 九九の位で加へ又法の尾より一桁左の位と実の尾数と見合九九  
 の位で加ふ法は次第小左へ引りて実の尾数と見合を終て実の桁の数を引  
 るむ違てけの如く実の首の桁へをのゝるあり

術曰実へ銀六分五厘を、重法へ十六を、重実の五と法の六と見合五六  
 三十を又実の五と法の六と見合二五五とを又実の二と法の六と見合二六十二とを又  
 実の二と法の六と見合二六十二とを又実の六と法の六と見合六六三十六とを又

実の六と法の二と見合一六六とを銀百目と知るあり

今銀二百二十一文を二十六の割は何と知るあり

答 八文五分

見二歸除法

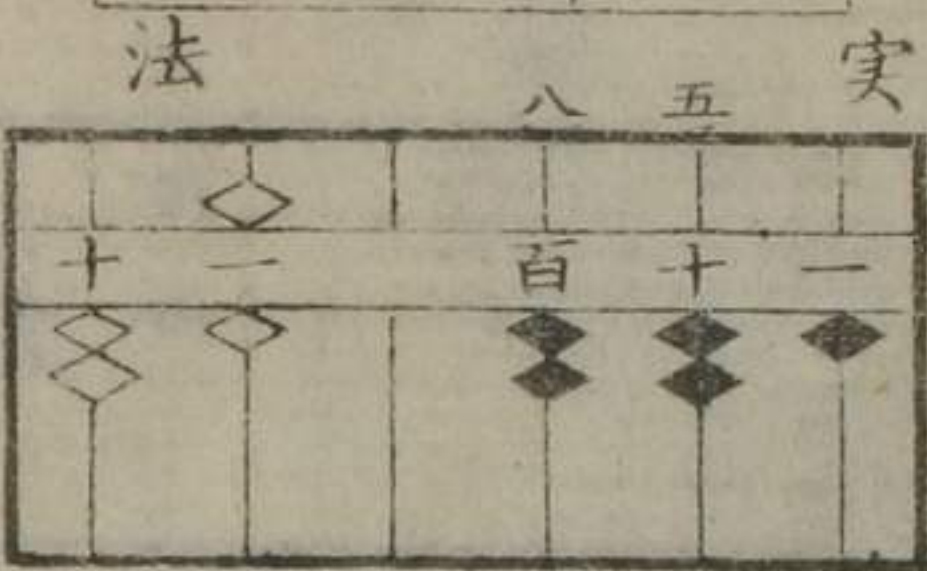
見二無頭作九二

歸一

倍二

此餘八算小同

割算の圖



- ① 六八四十八引二残る
- ② 見二無頭作九二

- ③ 五六三十引
- ④ 二一添作五
- ⑤ 歸一倍二

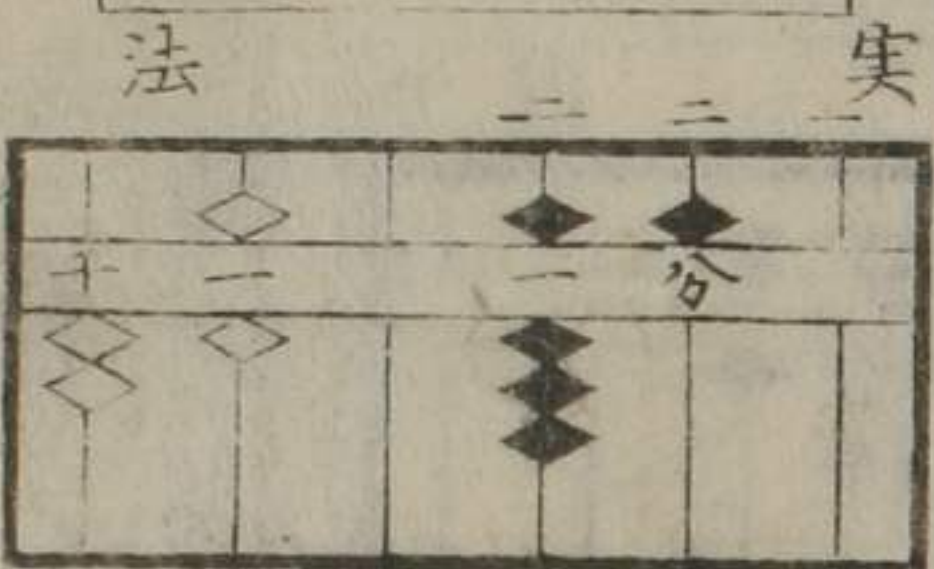
初日実へ銀二百二十一文を並法へ二十六を並法の首の二を以て実の首の二を二進十と割るは初商一を治るは法の

次の六と見合一六六の實を引ぬゆゑ二進十と割るは初商一を治るは法の  
無頭作九と割るは  
以理より治るは初商九を治るは九と法の六と見合六九五四の實を引ぬゆゑ歸一倍二

といふ商九の内二を拂次の初二を加ふは商八と成け八と法の六と見合六八  
四十八實を引又法の首の二を以て実の一を二天作五と割次商五と成け  
五と法の六と見合五六三十實を引拂八文五分と知るあり  
今銀八文五分を二十六合て何と知るあり

答 二百二十拾一文

掛算の圖



- ① 五六三十
- ② 二五十一
- ③ 六八四十八
- ④ 二八十六

初日実へ銀八文五分を並法へ二十六を並法の首の二と見合五六三とを實の五と法の二と見合二五十一とを又實の八と  
法の六と見合六八四十八とを實の八と法の二と見合二八十六とを二百二十一と知るあり



見四歸除法

見四無頭作九四

歸一倍四

此餘八算小同

圖の算割



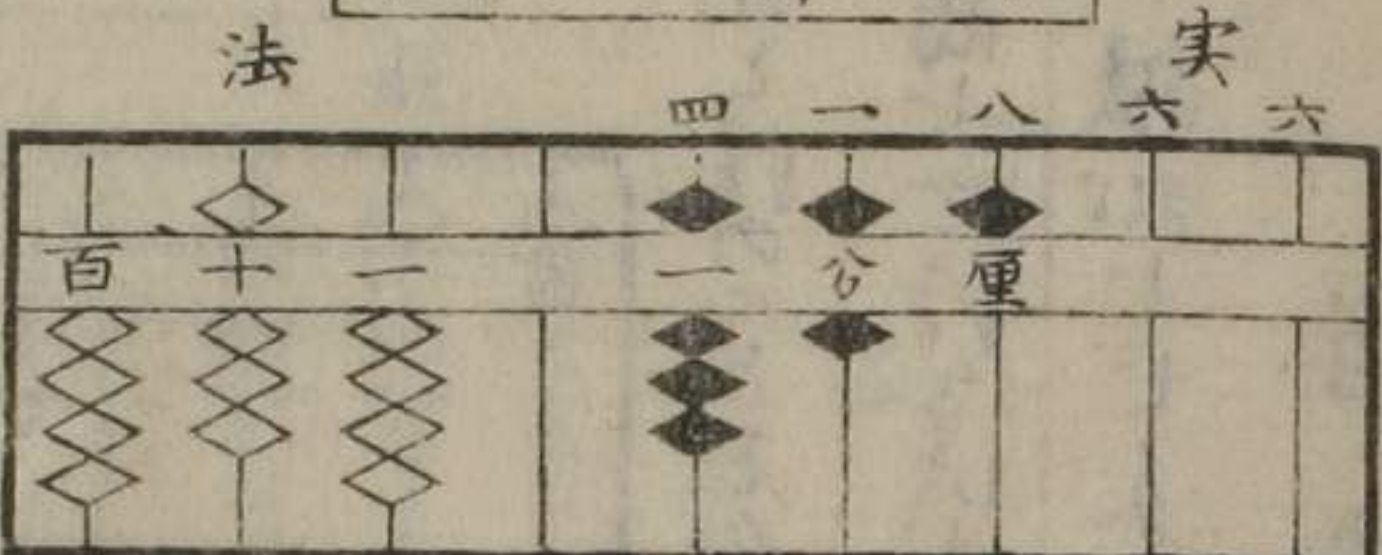
- ① 四六二十四引
- ② 四二添作五
- ③ 五八四引
- ④ 四八三十二引
- ⑤ 四三七十二
- ⑥ 八八六十四引
- ⑦ 見四無頭作九四
- ⑧ 歸一倍四

術曰實(指)四費百八十六分を並法(四百八十四)を並法の首の四を以て實の首の四を見四無頭作九四と割歸一倍四と返(商八)を返すは八と法の八と見合八六十四實

あて引又商八と法の四と見合四三十二引次分は八と割八分五厘と知るあり  
今銀八分六厘五厘を四百八十四合て何種と同

答 四費百八十六分六分

圖の算掛



- ① 四五二十
- ② 四六二十四
- ③ 五八四十
- ④ 六甲八分十
- ⑤ 四八三十二
- ⑥ 四五二十
- ⑦ 八八六十四
- ⑧ 四三十二分十

術曰實(指)八分六厘五厘を並法(四百八十四)を並法の五と法の四と見合五二十とを又實の五と法の八と見合五八四十とを實の五と法の四と見合四三十二とを次分は八とを返四費百八十六分六分と知るなり

今銀五拾六費七百四十五分を五百八十二割何種と同

答 九拾七分五分

見五歸除法

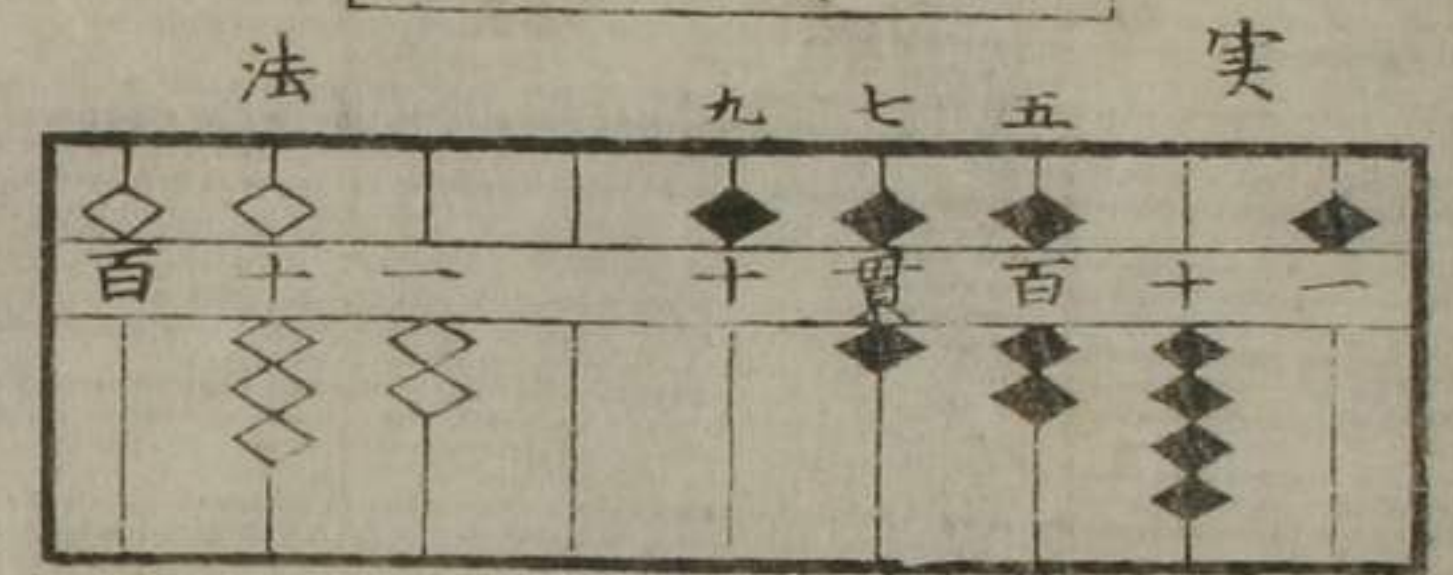
見五無頭作九五

歸一倍五

此餘八算小同

算盤馬安

割算の圖

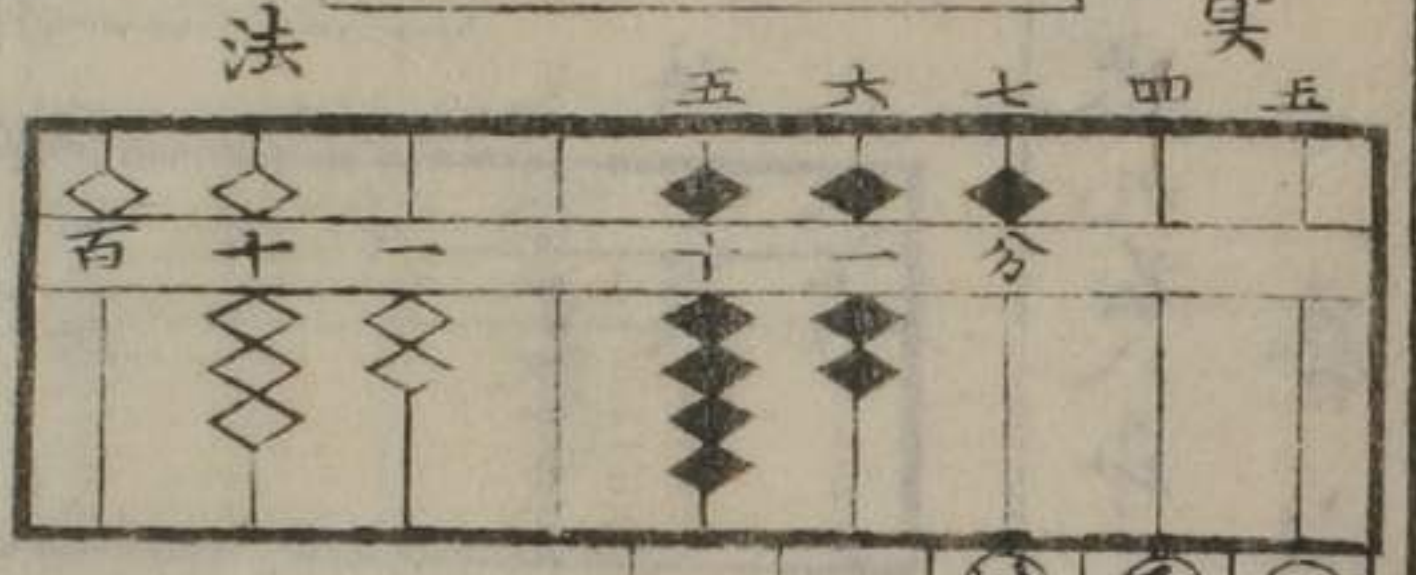


- ① 見五無頭作九五
- ② 二九十八引二残
- ③ 八九七十二引
- ④ 見五無頭作九五
- ⑤ 二七十四引
- ⑥ 七五十六引四残
- ⑦ 五四加四
- ⑧ 二五十三引
- ⑨ 五進十 五八十四引
- ⑩ 五二加二
- ⑪ 帰一倍五

初商九を引るに九と法の八と見合八九七十二実より引又商の九と法の二と見合二九十八実より引残を②の柄みて五四加四と割帰一倍五返一  
 次商七を引るに七と法の八と見合七八十六引と次商七の柄みて九十七五と知ると  
 今銀九十七五五分を五百八十二合て何程と同

答 五拾六貫七百四十五文

掛算の圖



- ① 二五
- ② 五八四十
- ③ 五五二十五
- ④ 二七十四
- ⑤ 七五十六引四残
- ⑥ 二九十八引二残
- ⑦ 五七三十五引五残
- ⑧ 八七七十二
- ⑨ 五九四十五引五残

御曰實へ銀九十七五五分を並法へ五百八十二を並實の五と法の二と見合二五とを實の五と法の八と見合五八四十とを又實の五と法の五と見合五五二十五と受け次商七の柄みて九十七五と知ると

今米六万八千八百八十五石五斗を六千七百七十五石割何程と同  
 答 九石八斗六升

見六歸除法 見六無頭作九六 歸一倍六 此餘八算と同



算盤身

割の算の圖

今米

千	百	十	一	石	斗	升	合	分
◇	◇	◇	◇	◆	◆	◆	◆	◆
◇	◇	◇	◇	◆	◆	◆	◆	◆

① 七三三十二	② 七六八十四	③ 七六八十四	④ 七六八十四	⑤ 七六八十四	⑥ 七六八十四	⑦ 七六八十四	⑧ 七六八十四	⑨ 七六八十四	⑩ 七六八十四
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

御曰實と法圖の如く、並實の首の三を法の首の七より七三、四二と割初商をゆるけ四と法の五と足合四五二十實ゆる引次第試の如く割四石九斗九升六合と知るあり

答 三万四千九百九拾六石九斗八升

掛の算の圖

今銀

千	百	十	一	石	斗	升	合	分
◇	◇	◇	◇	◆	◆	◆	◆	◆
◇	◇	◇	◇	◆	◆	◆	◆	◆

① 五六三十	② 七九六十三	③ 七九六十三	④ 七九六十三	⑤ 七九六十三	⑥ 七九六十三	⑦ 七九六十三	⑧ 七九六十三	⑨ 七九六十三	⑩ 七九六十三
--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

御曰實と法圖の如く、並實の六と法の五と足合五六三下とを又實の六と法の七と足合六七四三と次第試の如く三万四千九百九拾六石九斗八升と知るあり

答 九万八千七百六毛

見八歸除法

見八無頭作九八

歸一倍八

此餘八算小同

算盤身

割算の圖

千	百	十	一	厘	分	毫
◇	◇	◇	◇	◆	◆	◆
◇	◇	◇	◇	◆	◆	◆

今銀九分八厘七毫を八分六厘五毫合て何程と同

答 八割四費九百八拾二分九厘八毫

① 五六三十一	② 五六三十一	③ 五六三十一	④ 五六三十一
⑤ 五六三十一	⑥ 五六三十一	⑦ 五六三十一	⑧ 五六三十一
⑨ 五六三十一	⑩ 五六三十一	⑪ 五六三十一	⑫ 五六三十一
⑬ 五六三十一	⑭ 五六三十一	⑮ 五六三十一	⑯ 五六三十一
⑰ 五六三十一	⑱ 五六三十一	⑲ 五六三十一	⑳ 五六三十一
㉑ 五六三十一	㉒ 五六三十一	㉓ 五六三十一	㉔ 五六三十一
㉕ 五六三十一	㉖ 五六三十一	㉗ 五六三十一	㉘ 五六三十一
㉙ 五六三十一	㉚ 五六三十一	㉛ 五六三十一	㉜ 五六三十一
㉝ 五六三十一	㉞ 五六三十一	㉟ 五六三十一	㊱ 五六三十一
㊲ 五六三十一	㊳ 五六三十一	㊴ 五六三十一	㊵ 五六三十一
㊶ 五六三十一	㊷ 五六三十一	㊸ 五六三十一	㊹ 五六三十一
㊺ 五六三十一	㊻ 五六三十一	㊼ 五六三十一	㊽ 五六三十一
㊾ 五六三十一	㊿ 五六三十一	㊿ 五六三十一	㊿ 五六三十一

術曰實と法(圖)の如く無法の首の八を實の首の八を見八無頭作九と割初商九を引るは九と法の六と足合六九五十四實より引又商九と法五と足合五九四五實より引次商九の如く割九分七厘六毫と知る

掛算の圖

千	百	十	一	厘	分	毫
◇	◇	◇	◇	◆	◆	◆
◇	◇	◇	◇	◆	◆	◆

見九歸除法

見九無頭作九九

歸一倍九

此餘八算小同

① 五六三十一	② 五六三十一	③ 五六三十一	④ 五六三十一
⑤ 五六三十一	⑥ 五六三十一	⑦ 五六三十一	⑧ 五六三十一
⑨ 五六三十一	⑩ 五六三十一	⑪ 五六三十一	⑫ 五六三十一
⑬ 五六三十一	⑭ 五六三十一	⑮ 五六三十一	⑯ 五六三十一
⑰ 五六三十一	⑱ 五六三十一	⑲ 五六三十一	⑳ 五六三十一
㉑ 五六三十一	㉒ 五六三十一	㉓ 五六三十一	㉔ 五六三十一
㉕ 五六三十一	㉖ 五六三十一	㉗ 五六三十一	㉘ 五六三十一
㉙ 五六三十一	㉚ 五六三十一	㉛ 五六三十一	㉜ 五六三十一
㉝ 五六三十一	㉞ 五六三十一	㉟ 五六三十一	㊱ 五六三十一
㊲ 五六三十一	㊳ 五六三十一	㊴ 五六三十一	㊵ 五六三十一
㊶ 五六三十一	㊷ 五六三十一	㊸ 五六三十一	㊹ 五六三十一
㊺ 五六三十一	㊻ 五六三十一	㊼ 五六三十一	㊽ 五六三十一
㊾ 五六三十一	㊿ 五六三十一	㊿ 五六三十一	㊿ 五六三十一

術曰實と法(圖)の如く無法の首の八を實の首の八を見八無頭作九九と割初商九を引るは九と法の六と足合六九五十四實より引又商九と法五と足合五九四五實より引次商九の如く割九分七厘六毫と知る

答 二費の六百二十五分



掛算の圖

法	二	三	七	五	八	三	五	實
万	千	百	十	一	買	百	十	一
◇◇◇◇		◇◇◇◇		◇◇◇◇	◇◇◇◇	◇◇◇◇	◇◇◇◇	◇◇◇◇

御曰實と法(圖)の如く並實の五と法の八と足合五八四十とを又  
 實の五と法の五と足合五五二十五とを又實の五と法の九と  
 足合五九四十五とを次第圖の如くをく二指三方七千  
 五百八指三費五百と初るあり

い	五八四十	に	二六六四なぞの十
ろ	五五二十五	ほ	二五
は	五九四十五	ち	五六三十
		り	六九五十四
		る	二五
		を	二六六四なぞの十

割算の圖

今銀	法	二	六	二	五	實	
万	千	百	十	一	買	百	十
◇◇◇◇		◇◇◇◇		◇◇◇◇	◇◇◇◇	◇◇◇◇	◇◇◇◇

御曰實と法(圖)の如く並法の首の九と實の首の二を九下加くと別初  
 商二を引よび法の五と足合二五引又商二と法八と足合二六六  
 ち引次第の如く別二費六百二十五と初るあり  
 二費六百二指五を九万〇五百〇八合て何指と同  
 答 二指三方七千五百八指三費五百

い	九二下加二	に	九五下加五
ろ	二五引	ほ	九進一十
は	二六六引四残	へ	五六三引
		ち	九二下加二
		り	二五引
		る	九四下加四
		を	九進一十
		わ	五五二十五引
		か	五八四十引

算  
 舟  
 山  
 長  
 安

○永

永一貫丈ハ 金一兩 永七百五十文 金三分 永五百文ハ 金二分

永二百五十文 金一分 永百二十五文 金二分

永の近代名を辨く通用止む當時金の別名小用たといふ金一兩を四ッ小割ハ二分五厘と成即令一分あり金一分二分三分と唱ふるゆゑ分の字同字を辨くきゆゑ令式分五厘といふことを永二百五十文と令一分あり又令五分といふ厘を永五百文と稱するなり金二分なり餘ハ是ハ小準ト知るべし

永八百七十文を報あして何程と同 但一兩幣報六十目

答 報式分五分

御曰永八百七十文(報お場六十目をを初る)

永三百六十文指文を辨あして何程と同 但一兩幣報六十文

答 二十貫〇七十二文

御曰永三百六十文指文(兩幣報六十貫六百文を指)又十文以下一五分六厘を是て通用報二指貫〇七指二文と知るなり

永二百二十八貫八百七十文を令あして何程と同

答 令式百三指八兩三分式米之

御曰永二百三指八貫八百七十文を指(指二百二十八貫文引て令式百三指八兩三分式米之)又指の百七十文引て令二分なり又百二十文引拂て令式米也(指令式米を初る)

○金

金百三指八兩一分を報あして何程と同 但一兩幣報六十目

答 報八貫百指五分

御曰金百二十両一分を金一分、永二百六十文と金一両已下は皆以後是ふたり兩替銀六十目を金銀言知之

金二子百兩を銀言へ何程と同但一兩替銀六貫六百文

答 一万六千二百五十貫文

御曰金二子百兩一両替銀六貫六百文を金銀言を知之

金指百兩一分式銀を銀言へ何程と同但一兩替銀六十目

答 九千九百九十六貫文

御曰金指百兩一分式銀と金一分二米八永三百七十五文と金一兩以下は皆兩替銀六貫六百文を金銀

九十九貫九百二十七文五分とあるを十文以下九分六厘を金銀言を知之

○銀

銀二百指七貫六百〇文を金言へ何程と同但一兩替銀六十目

答 金二子二百九十三兩一分銀六分

御曰銀二百指七貫六百〇文を金言へ何程と同但一兩替銀六十目

三兩と永二百五十文とある以内永二百五十文を一分と一兩百文一両替

銀を金指銀六分とある金言を知之

銀一貫〇二拾文を銀言へ何程と同但一兩替銀六十目

答 銀百指貫六百文

御曰銀一貫〇二拾文を金言へ何程と同但一兩替銀六十目

又百文を金指銀言を知之

○錢

銀二百指七貫六百六拾文を金言へ何程と同但一兩替銀六貫六百文

答 金三指七兩一分二米

御曰銀言二百指七貫六百六拾文を金言以下九分六厘と一兩

四拾日費又百六十二文五分とある是を西幣換六費五百文より割合二十  
七西水六百二十文とある定法と通永を合に換一懸金言を初るあり

錢八費百二十四文を報しして何種と同 但一西幣報六十目

答 報七指五文

御曰錢八費百二十四文を並百文以下定法と通九分五厘を別西幣報  
六十目を並百文を並百文以下定法と通九分五厘を別西幣報  
六十目を並百文を並百文以下定法と通九分五厘を別西幣報

○金銀錢相場割

金一兩小錢六費六百文より報一兩の錢何種と同 但一西幣報六十目

答 報一兩の錢百〇八文

御曰錢六費六百文を並九分六厘を並百文以下定法と通九分六厘を別西幣報  
六十目を並百文を並百文以下定法と通九分六厘を別西幣報

百文以上九分六厘まで別報一兩の錢百〇八文と初るあり

又一御曰錢六費六百文を四を二度を目錢四文を加へ一兩の錢を初る  
あり 但一法は西幣報六十目の法よりして戸辺通用小限なり

金二兩小錢八百十二文より報一兩の錢何種と同 西幣報六十目

答 報一兩の錢百〇八文

御曰錢八百十二文を並百文以下定法と通九分六厘を別是を倍して  
八を二度を目錢四文を加へ報一兩の錢を初る

銀二兩五分の代錢三百七十六文より報一兩の錢何種と同

答 報一兩の錢百〇八文

御曰錢三百七拾六文を並定法と通九分六厘を別是を報二兩五分より別  
報一兩の錢百〇四文と目錢四文を加へ報一兩の錢と初るなり

銀一両の錢百〇八文ありて今銀三枚七両五分の錢何程と同

答 錢四貫〇六拾文

樹曰銀一両の錢百〇八文を重定法に通調錢小重一銀三枚七両五分一  
うけ調錢二貫九百文と成定法百文以上九分六厘あり別省錢四貫〇  
六拾文と知るなり

今白銀百二十五枚を金小換る但一白銀一枚ハ四十三両二両銀六  
六十二両五分也此令言何程と同

答 金八拾六兩

樹曰白銀百二十五枚を重白銀一枚の四十三両二両銀六  
うけ熱銀五貫三百七十五両と成定法百文以上九分六厘あり別省錢六十二  
分あり別令言何程と同

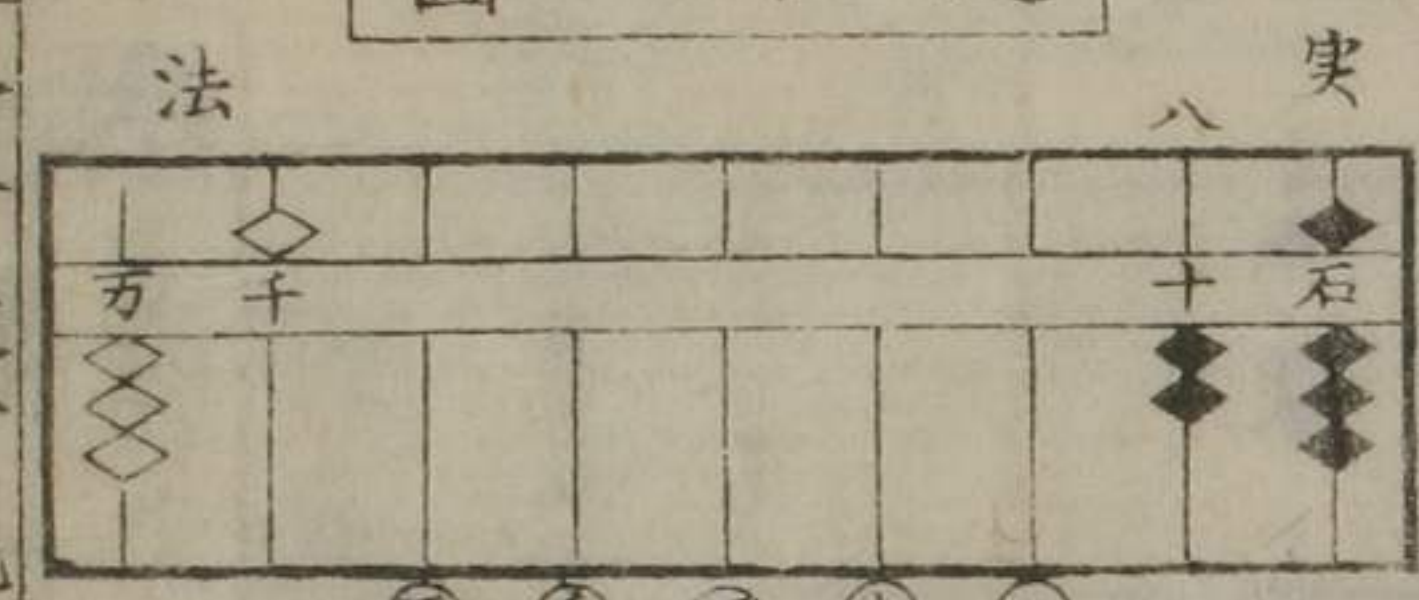
○ 乗除定位 掛割の位取を云

今米二十八石何り人粒三万五千小割渡一人取米何程と同

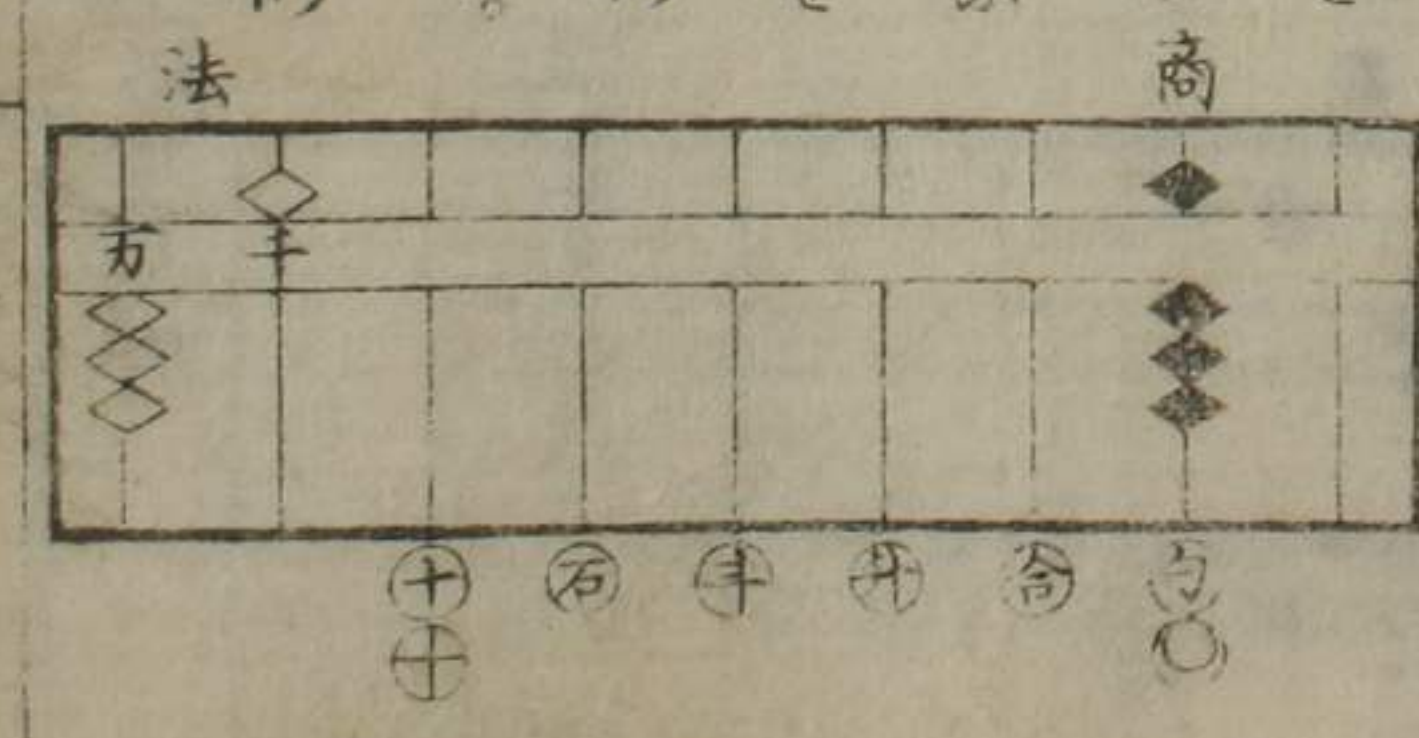
答 一人取米八勺

樹曰米八十を實と一人粒三万を法とて實を割一人取米を知る

圖の位定



實と法(圖)のや、重定法の首位の一桁左を  
一の位より一十百千と法の首位を進む法の商  
首位ハ三万ゆ多方の位ありて止即④の桁ハ  
ある其桁を實の首位よりて商の位を  
定む實の首位ハ十石なり依り④の桁  
を商の十石より十石斗升合勺  
と右へかど位を見る小商の八ハ勺の桁  
小商の八ハ勺と知るあり



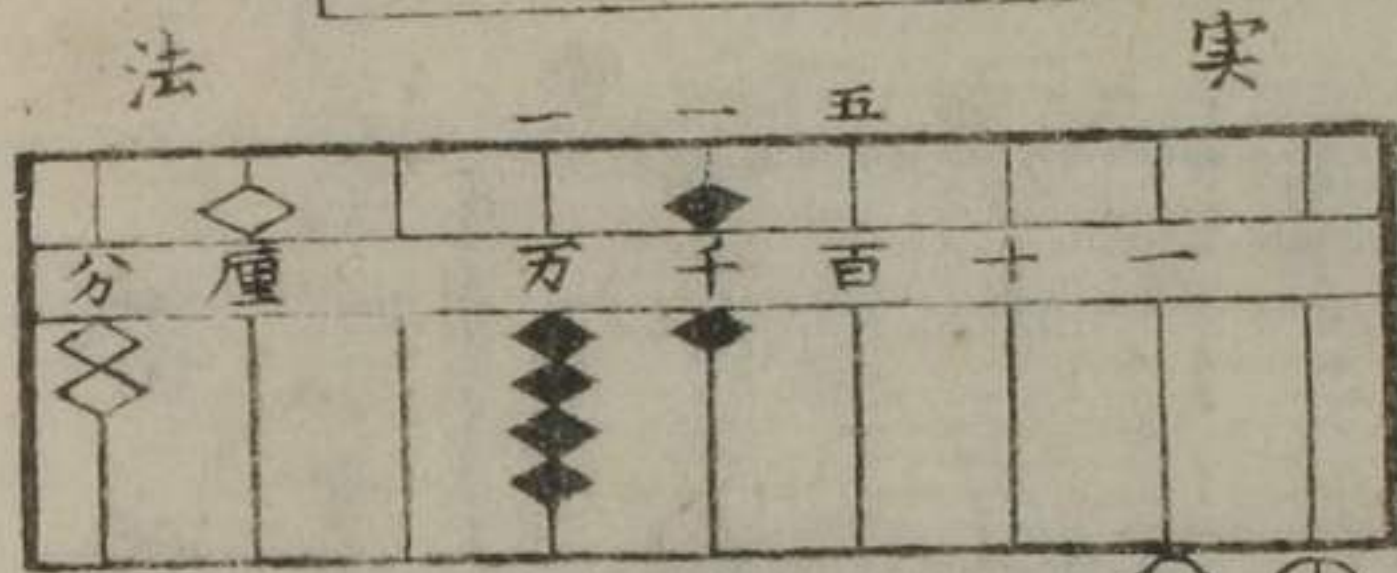


今銀二分五厘づ毎日積置其日数四万六千日の銀言何程と同

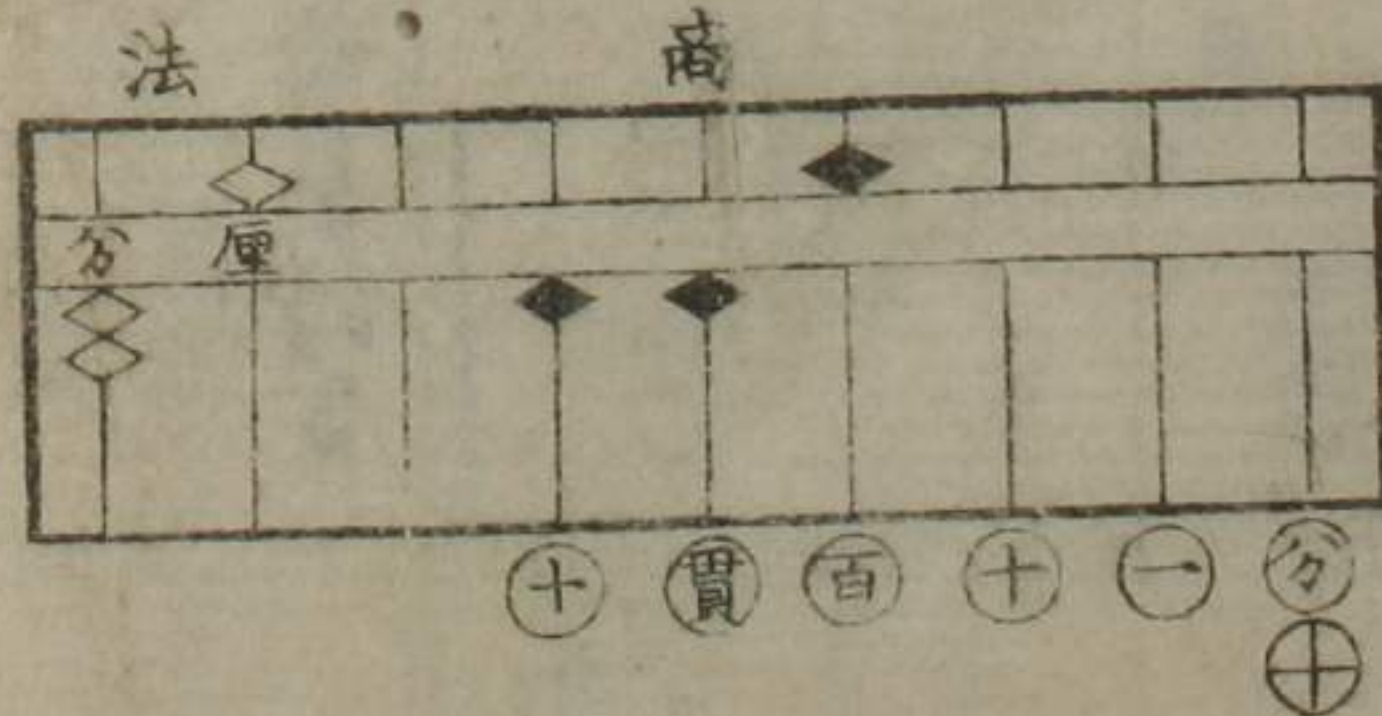
答 銀言拾一貫二百文

術曰日数<sup>四万六千日</sup>を實と一<sup>分</sup>を法とて實を法とて實を報言を法とて

定位の圖



實と法(圖)の如く並實の一の位の次の桁を  
 法の首位とて商の位を定む法の首位は  
 二分の毫分の位に實は四万六千の毫分  
 百十と右にぞりれが○の桁一の位にあり  
 仍て其次の⊕の桁を法の首位分の位と  
 しては桁より一分十百貫と左にぞり  
 位を定む初商は十貫の位の桁にあり  
 由是拾一貫二百文と知るなり



○ 異乗同除

米一石二斗の代報七十五文ありて今報二貫百八十七文ある米何程と同

答 米三十五石

術曰法の代報<sup>二貫百八十七文</sup>を法と米<sup>一石二斗</sup>を厘とて法の石言を法と

米五斗四升の代報四十二文ありて今米四石二斗三升の代報何程と同

答 報三百二十九文

術曰法の米<sup>四石二斗三升</sup>を並代報<sup>四十二文</sup>を法の米<sup>五斗四升</sup>とて法の代報を法と

米二斗八升の代報二十文ありて今令一兩小米何程と同

答 米八斗

術曰兩幣報<sup>六十文</sup>を法と米<sup>二斗八升</sup>を厘とて法の米石言を法と

米百俵の代令三十六文ありて今米四拾五俵の代令何程と同

算段見

三十一

答 令指六兩銀十二分六厘

御曰後の儀敷四十へ百俵の代令六軒を是後の代令拾六兩永二百文を以て  
永二百一兩銀六十をを増銀と凡

金一兩小摸百六十五把銀りて今摸三千九百九十三把の代令何程と同

答 令二十四兩二束銀四分六厘

伴 為替銀六十目

御曰有摸三千九百を以令一兩の核百六十より割令二十四兩永二百文を以て  
以永の内百二十五文引令二束より抄永七十八文へ兩替銀四十をを増銀と凡

金一兩小摸八十束銀りて一束の代錢何程と同 伴 兩替銀六貫五百文

答 一束の代錢七十八文

御曰兩替銀六貫五百文定法通調銀の車六貫二と成令一兩の核八十を以て割一束の代錢を以る

三尺繩の摸八百五十束を二尺五寸繩りて束數何程と同

答 二尺五寸繩子二百二十四束

御曰前の繩三尺を是後の繩二尺りて割一個二分と成是をを令一個四分四厘  
と成是八十をを二尺五寸繩の束數を以る

金一兩小炭二十三俵銀りて今炭八分七十三俵の代令何程と同

答 金三百六十一兩

御曰有炭八千を以令一兩の炭三十俵少を割代令を以る

炭五俵の代銀拾二分より今炭四十五俵の代銀何程と同

答 銀百拾七分

御曰後の儀敷四十へ前の代銀十三をを前の儀敷俵少を割後の代銀を以る

金一兩小炭八十五貫目銀りて今炭二百二貫三百目の代銀何程と同



答 報百四拾二文八分

御曰有炭二百二貫一兩百六十を合一兩の炭八十を割代報を清る

金一兩味を合二貫二百拾目の代報何程と同

答 報拾三文二分

御曰味十貫一兩百六十を合一兩の味八十を割代報を清る

金一兩味四十八貫七十を合二貫二百拾目の代報何程と同

答 味百七十目

御曰令一兩の味四十八貫七十を合二貫二百拾目の代報何程を清る

金一兩味拾六貫七十を合二貫二百拾目の代報何程と同

答 報一貫三百二十四文

御曰有塩三百三一兩百六十を合一兩の塩八十を割代報を清る

塩三斗の代錢七百を合七升の代錢何程と同

答 代錢百七拾六文

御曰前の代錢七百文を合百文以上宣法九分を合調錢七百二十文と成是

後の塩七升を前の塩七升を割調錢百六十八文と成百文以上宣法九分を合

別後の代錢を清る

御曰油一兩拾三拾を合一兩の油拾三を割代令を清る

答 金五拾七兩

御曰油一升の代錢百二十八文を合八升又合の代錢何程と同

答 代錢一貫九拾四文

御曰一升代錢百二十文の内同錢四引調錢百二十四文と成是八升を合調錢一貫五十四文

百文以上定法九分を割代銭を返る

塩五升小香油二升を換る割合あり今塩一石七斗五升小香油何程と問

答 香油七升

御日後の塩一石七斗前の香油升を足前の塩五斗を割後の香油を返る

酒一樽の代銀七拾八文ありて一升の代銭何程と問

答 一升の代銭二百拾八文

但一升の代銭百〇八文

御日銀八十を重一樽の入細を割一升の代銀九分五厘と成実と尺銀一両の代銭八文の内日銭四文引割銭百〇四文と成是を實一を割銭二百〇二文八分と成百文以上定法九分を割一升の代銭を返る

酒一升の代銭二百拾八文ありて今酒二斗三升の代銭何程と問

答 代銭六貫八百拾六文

御日一升の代銭二百八を重百文以上定法九分を割調銭二百七十二文と成是

酒二斗を重調銭六貫二百六十六文と成百文以上定法九分を割代銭を返る

水油一樽三斗七代令二兩一分ありて一升の代銭何程と問

答 一升の代銭三百八十六文四分

但一升の代銭六百文

御日兩替銭六貫を重定法九分を割調銭六百二十文と成代令二兩一分

を掛一樽の入三斗七代令二兩一分と成百文以上定法九分を割一升の代銭を返る

金一兩小板五五枚替ありて今板二斗三十五枚の代令何程と問

答 金三拾七兩

御日板二斗三を重金一兩の板二枚を割代令を返る

金一兩小杉丸五本替ありて今丸五百五十五本の代銀何程と問

答 根二百二十五

但 一兩 碧根六十目

御日有九枚五百五一兩碧根六十を令一兩の丸を十刻代根を以る  
板二十五枚八幅代根八枚五にして板二十七枚七幅の代根何程と問

答 根百〇三六六分

御日有の板五枚十一兩の幅八を以る後板七枚十後の幅七を以て代根  
八十を以て法して刻後の代根を以る

材木尺メ定法

一尺角長二間を一本と云

半間ハ	二分五	一間ハ	五分	一間半ハ	七分五	二間ハ	一本
二間半ハ	一本二分五	三間ハ	一本五分	三間半ハ	一本七分五	四間ハ	二本
四間半ハ	二本二分五	五間ハ	二本五分	五間半ハ	二本七分五	六間ハ	三本
六間半ハ	三本二分五	七間ハ	三本五分	七間半ハ	三本七分五	八間ハ	四本
八間半ハ	四本二分五	九間ハ	四本五分	九間半ハ	四本七分五	十間ハ	五本
十間半ハ	五本二分五	十一間ハ	五本五分	十一間半ハ	五本七分五	十二間ハ	六本

金一兩小松一本二分八刻して今松幅二尺五寸厚一尺八寸長二間半  
の代金何程と問  
但 一兩 碧根六十目

答 金四兩二分二厘七分六厘

御日幅五寸一厚八寸を以る長二尺の定法一本二分五を以て尺五本  
六分二厘五毛とある是を令一兩の二分刻令四兩永六百八十七文  
五分と成以内永六百二十又文を令二分二厘一刻永六十二文五分一  
を以て法して刻後の代根を以る

今丸を長六間半口一尺一寸末は八寸尺メ何程と問

答 尺又二本一分四厘四毛一系四忽二微

御日有口一尺を以る末は八寸を以て小魚本は一尺一末は八寸を加一尺  
九寸と成是を以て法して三尺六寸一分と成以内別小魚を以て法して

長六の法法三をを又因換法七四八をを二をを維法少く割り  
尺ノを法る

縮一端七尺の代報二十九分七厘にして今縮一丈三尺七寸の代報  
何程と同

答 報括六分七厘

樹曰有縮一丈三寸一報二十九分七厘をを一尺の長短を割代報を法る

本縮一丈七寸の代報括六分七厘にして今本縮一丈五尺八寸の代報何程と同

答 報九分四分八厘

樹曰本縮一丈五尺八寸一報二十六分七厘をを一尺の長短を割代報を法る

金一兩小本縮系掛目九百二十分七厘にして今本縮系掛八分四百二十七分  
六分の代報何程と同

但 兩報六十目

答 金二十兩報一分八分

樹曰後の掛目十八分四厘をを金一兩の掛目十百三少く割代令二十兩永三十文  
ある永三十一兩報六十分をを標報と法

町家補一坪の地代三分三厘にして今町家補一坪の地代報何程と同

答 報七十四分五厘

樹曰同は二一奥の半をを坪敷二十二坪生と成是二坪の地代三分三厘をを  
地代報を法る

同は十五間奥の二十間の町家代令三子三百又括兩の二坪敷百八括坪  
の代令何程と同

答 令子三百又括兩

樹曰同は十五間奥の二十間の町家代令三子三百又括兩の二坪敷百八括坪  
の代令何程と同

割代金を得る

京間六百八拾坪の地新河りけ惣坪田舎間坪少て何程と同

答 二百拾一坪二合五勺

併一各間 京間八六五勺 田舎間八六尺

樹曰京間坪十坪を並百六十九個を百四十四個少て割田舎間坪を得る

道法三里の結債銀二百十二文あり百四十五里の結債何程と同

答 結債銀拾費〇二百六十八文

樹曰前の債銀二百十を並百文以上定法九分を割銀二百〇二文と成後の里

割結債銀を得る

米七拾俵の運賃銀三拾五文也今米三万四千五百六十七俵の運賃何程と同

答 銀拾七費二百八拾三文五分

樹曰後の儀數三万四千五百六十七俵の運賃銀五十五文を並前の儀數七十一少て割運賃銀を得る

檜普請河り其入用銀二費六百九十五文今大中小の三町より出銀を大町小間

二百〇七間中町小間百二十〇間小町小間八十八間各町小町小町出銀何程と同

答 大町出銀一費四百九十九文 中町出銀八百四十文 小町出銀四百〇六文

樹曰大中小三町小間合て三百八十九文を以て入用銀九十五文を割法と成各小間

出銀法を並町々出銀を得る

川流河り人丈七人少て三坪後二十人少て四坪運入今川幅十二間長二子六百間の

所深三尺通り流人丈何程と同

答 流人丈三万六千六百人

運人丈七万六千六百人

樹曰深三尺を間法六尺少て割幅十二を並又長二百五を並實と成前の人丈七を

運入米をぬる

○ 割増 割減

内 仮令内二割減といふ物穀一ツの内二分引て減八分をぬるをいふ又八分を以て一ツを割一ツ五分五厘をぬる是を内二割増といふ又一ツの内三分引て減七分をぬるを内三割減といふ

外 仮令外二割減といふ物穀一ツの内二分引て減八分をぬるをいふ又一ツの内二分を割一ツ五分をぬるを外二割増といふは準じて初より

鞍馬一疋の賃銭百二十文の場而外二割五分増し何程と同

答 賃銭百六拾四文

粥日原賃銭百二十文を魚目銭四文を引減五分と成実と凡五分を魚目法一を加五分五分と成是を實一を引減四分を加賃銭をぬる

人員一人の賃銭八拾五文の場而内三割増し何程と同

答 賃銭百二十四文

粥日宣法一を魚目割三を引減七分と成是少く原賃銭八十文を割目銭四文を加賃銭をぬる

玄米三石又斗を内一割二分減小春白米何程と同

答 白米三石四升五合

粥日宣法一を魚目三割を引減七分と成法より玄米三石一斗白米をぬる内一割減小春白米二石二斗又升何りけ玄米何程と同

答 玄米二石八斗

粥日宣法一を魚目割一を引減九分と成法より玄米二石二斗を割玄米をぬる玄米八石九斗七升を外一割五分減小春白米何程と同

答 白米七石八斗

御曰定法一を重一割を加一一個一五分を加一成法して玄米八石九斗七升を割白米を得る

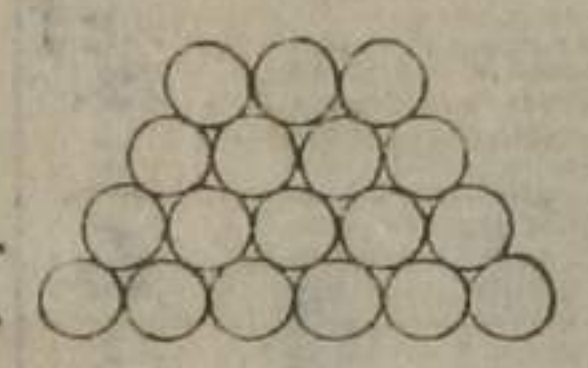
内二割減の外何割減小あると同

答外二割五分減小ある

御曰定法一を重内割を引抄分ハ成法して割を割外減を得る

○ 杉形

図の如く俵を積あり下併二十五俵上の留り八俵引て惣俵数何程と同

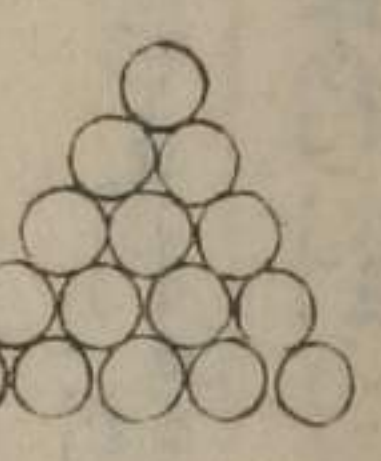


答惣俵数二百九十七俵

御曰下併二十俵を重一俵を加内留り俵を引抄俵十八成法して下併二十留り俵八を加三十成法して法を重二二割惣俵数を得る

因の如く俵を杉形小積り下併十三俵上の留り一俵引て惣俵数何程と同

答惣俵数九十一俵



御曰下併十三俵を重留り一俵を加十四成法して下併十三俵を重二二割惣俵数を得る

○ 利足

元金二十五兩貸下月利令一分引て今元金五百兩六月貸下月利令何程と同

答利金三十兩

御曰前の元令五十兩定法四を重百成法して法後の元令五百兩を重月數月六法を以て割後の利令を得る

元金三十兩貸下月利令一分兩是八率利何割小あると同

答率利一割

御曰利令一分を重下年月數月十二を重令三成元令三十兩引て割率利を得る

元銭百文貸し月利銭四文取是元金何程と三月利令一分小高と同

答 元金六兩

御曰元銭百文を毎目銭文を引九十と成利令分の永<sup>二百五</sup>を利銭文<sup>四</sup>を

割月利令一分の元金を得る

年利一割二分の割合あり今元金<sup>百</sup>二百兩貸し年利令何程と同

答 利金百四十四兩

御曰元金<sup>百</sup>百兩を年利一割を利令を得る

年利一割五分あり元金三百兩貸し年利何程と同

答 元利合令三百四十五兩

御曰年利一割を毎個を加<sup>一個</sup>と成元金<sup>三百</sup>三百兩を元利令を得る

年利一割あり元金五百兩貸し年利令何程と同

初年 元利金合六百兩  
二年目 同 七百二十兩  
三年目 同 八百六十兩

但 利小利を加

御曰年利一割(宣法)を加<sup>一個</sup>と成法と元金<sup>五百</sup>五百兩(法)を初年の元利合

令と元金(法)を二年目の元利合と元金(法)を三年目の元利

合令と成

元金九百七十六兩三年貸年二割五分の利を加<sup>毎</sup>毎年元利同敷<sup>小</sup>成<sup>成</sup>

其返令言何程と同

答 毎年返令六百兩宛

御曰年利二割(宣法)を加<sup>一個</sup>と成法と元金<sup>九百</sup>九百兩(法)を初年の法と元金(法)を二年の法と元金(法)を三年の法と

法と元金(法)を三年の法と元金(法)を三年の法と元金(法)を三年の法と

法と元金(法)を三年の法と元金(法)を三年の法と元金(法)を三年の法と



かて割毎年返と合ををける

米五十石貸利米三斗一升二合五分取見八利金一分付元金何程と問

答 元金四十兩

御田利金永二百五十文を元米五十石を是を利米三斗一升二合五分かて割利金一分の元金を得

○反別

田一歩の初一升ありみち揃めて盛何程と問

答 盛十五

御田一反の歩数三百一歩初一升を又揃五をて盛をける

歩数八百七十八歩ありけ反別何程と問

答 二反九畝八歩

御田歩数八百七十八歩を畝法三十三を割商畝止反別をける註云商畝止三十三歩以下は畝とあり

田二町五反三畝二十一歩あり盛十二町七分米何程と問

答 分米三撮〇石四斗四升四合

御田反数二町五反三畝二十一歩を畝十歩以下畝法三十三を割三町五反七分を盛十二町七分を分米をける

盛十三五公五民の取あり反取米何程と問

答 反取米六斗五升

御田盛十三を畝公納五を反取米をける

田七反六畝あり反取米六斗四分七分途米何程と問

答 本途米四石五斗六升

御田反数六反七畝反取米六斗四分七分途米をける

畑二反八畝あり反取米二百文あり本途米何程と問

答 本途米五百六十文

樹曰反教二反一取永二言を本途永二言を返る

言子二百石あり免四ツ二分ありて本途米何程と同

答 本途米五百〇四石

樹曰言二石一免二ツを本途米を返る

○ 差分

銀五百五十文を上下二人小分る上の取報二言より下の取報二言ハ五十目二言上下の取報何程と同

答 上取報三百文 下取報二百八十文

樹曰熱報五百五の内二言取報二言を引二言割下二言の取報を返る二言加二言上の取報を返る

三百五十二文あり熱報何程と同

答 熱報一貫三百四十二文

樹曰一個を並内割を引割二言と末の取報三百五を是を始の取報二百五の内より引割二言割熱報を返る

根一貫二百文根文を人教二言より一番より次第二言根二言を返る二言取報何程と同

答 一番取報三百五十文 二番取報三百文 三番取報二百八十文 四番取報二百文 五番取報百六十文

樹曰人教二言の内一人引割二言と人教二言を二二言割差報五十を熱報二言五十文を加へ人教二言を引割二言一の取報を返る内二言取報二言を引二言一の取報を返る内二言取報二言を引二言三番の取報を返る次第二言の如く取報を引二言一の取報を返る

根二貫の五十文を上中下三人分る上の取報より中の取報ハ二百文少  
中の取報より下の取報ハ百文少一上中下の取報何程と同

答 上取報八百五十文 中取報六百五十文 下取報六百五十文

御曰上中の差報二百を重二を中下の差報百を加へ又是(懸報二百)を加へ  
人数三を割上の取報を倍る内上中の差報二百を引中の取報を倍る内中  
下の差報百を引下の取報を倍る

○盈胸

屋敷(布)を納むる反数并屋敷の水敷を初度二十一反納むる  
又二十三反納むる十一反不足屋敷の水敷并布の反数何程と同

答 屋敷七軒 布百五十反

御曰後の納る二十の内前の納る二十を引減二を法と成る三(不足)を加へ

法より割屋敷の水敷を倍る前より納る二十を解三を加布の反数を倍る

人集りて報と分る十二分は五分又十二分五分は一分一厘五分解る  
人数異有報何程と同

答 人数八人 有報百〇一五

御曰後の分る十五の内前の分る十二を引減五を法と成る前の解五を倍後の

解一を引減四を法より割人数を倍る前より分る十二を倍五を加有報を倍  
系合取て賃報を出し每人分報五分出せば報一分五分不足又每人三分五分  
出せば報八分不足なり系合人数五報五賃報何程と同

答 人数七人 賃報二十二五分

御曰後の出報三分の内前の出報一分を引減二分を法と成る前の不足五分の内後の不足八  
分を引減七分は是を法より割人数を倍る前出報三分を不足五分を加賃報を倍る

射手あやうのりまいたん毎人やう矢数やう十本あやうで發して餘七十五本又每人あやう十五本あやうで發して餘ふあやう是のりあやう人教あやう矢數何程と同

答人教十五人 矢數二百二十五本

御曰後發矢あやうの内あやう箭の發矢あやう射と引射あやう五法と引餘矢あやう七本と五法と引別人教を引後の發矢あやう何程を思矢數と引

○求積きき

方田あやうあり面あやう一十五間歩數何程と同

答歩數二百二十五歩

御曰面あやう一十を合せ歩數と引る

直田あやうあり長九間平六間歩數何程と同

答歩數五十四歩



御曰長九間平六間を歩數と引る

方田あやうあり面あやう一十五間歩數何程と同

答歩數二百二十五歩

御曰一五股八を二あやう小別歩數と引る

圭田あやうあり下斜十二間中勾十五間積何程と同積歩數と同

答積九十歩

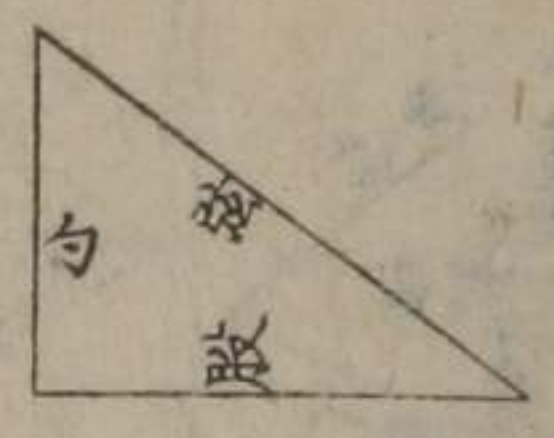
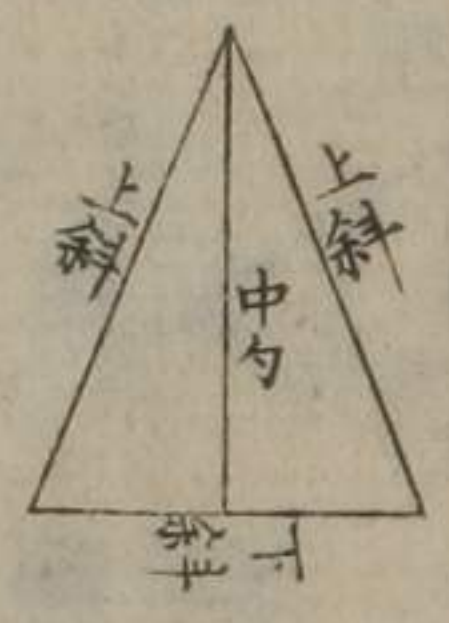
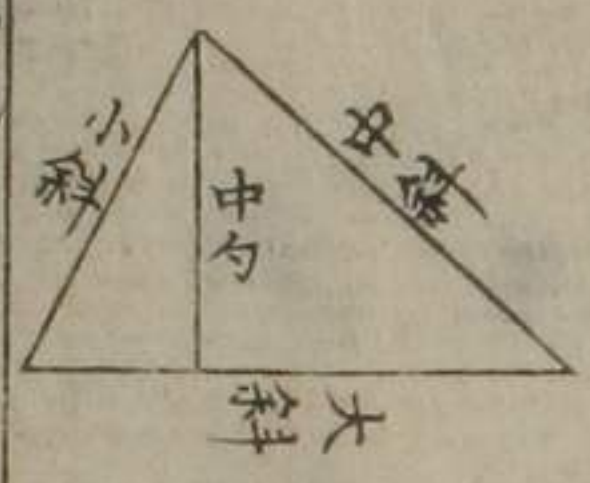
御曰下斜十二中勾十五を二あやう小別積を引る

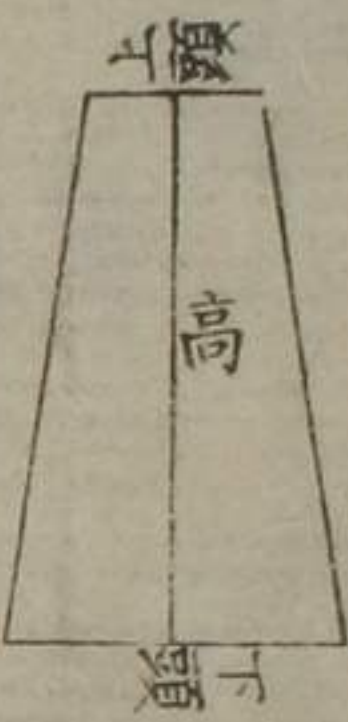
三斜田あやうあり大斜二十八間中勾十一間積何程と同

答積百五十四歩

御曰大斜二十八中勾十一を二あやう小別積を引る

梯田あやうあり上頭五間下頭九間高十五間積何程と同





答積百〇五歩

術曰上頭五下頭五加高五を二ッ小割積を倍る

半梯田のり大頭三間小頭二間高八間積何程と問

答積二十歩

術曰大頭三小頭二を加高八を二ッ小割積を倍る

菱田あり長三十五間平二十四間積何程と問

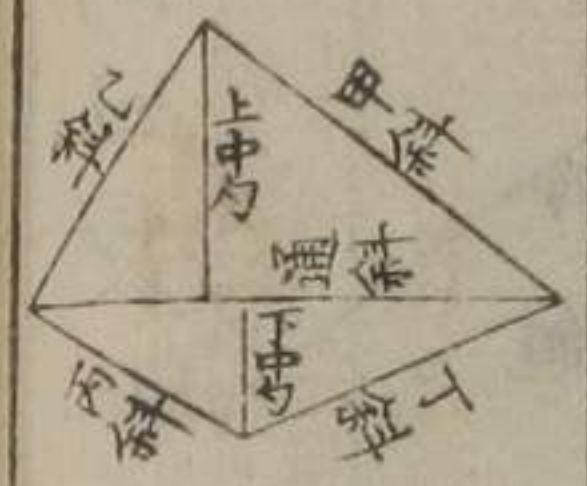
答積四百二十歩

術曰長三十五平二十四を二ッ小割積を倍る

四斜田のり上中勾五間下中勾三間通斜十間積何程と問

答積四十四歩

術曰上中勾五下中勾三を加通斜十を二ッ小割積を倍る



答積百〇五歩

箭翎田のり中長十二間左各九間高十間積何程と問

術曰中長十二左九を加高十を二ッ小割積を倍る

扇田あり半径十二間背十二間積何程と問

答積六十六歩

術曰半径十二背十二を二ッ小割積を倍る

車輞田のり外背九間内背六間離徑八間積何程と問

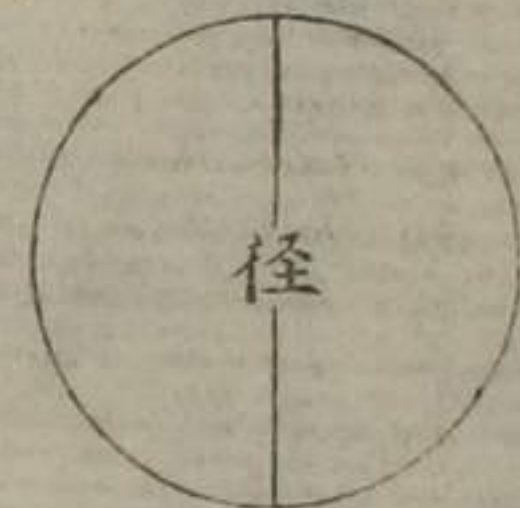
答積六十歩

術曰外背九内背六を加離徑八を二ッ小割積を倍る



圓田あり次の圖の如く半径八間積何程と問

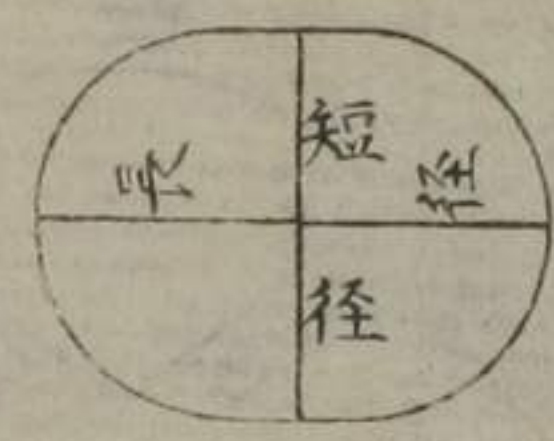
答積百七十六歩七分一厘五毛



樹曰徑十二間を合圓積率七分八五四を積せしむ  
又周二十間積何程と同

答積三十一歩八分三厘〇九糸

樹曰周二十間を半して十間と減りてを合圓周率三個四六分刻積せしむ



帶直圓田あり長径十五間短径七間積何程と同

答積九十四歩四分八厘四毛六糸

内短径七間を引減りへ短径七間を積せしむ

側圓田あり長径八間短径五間積何程と同

答積三十一歩四分一厘六毛

樹曰長径八間へ短径五間を亦圓積率七分八五四を積せしむ



錢田あり圓径五十間方面二十間外積何程と同

答外積千五百六十三歩五分

樹曰方面二十間を合別小並圓径五十間を合圓積率七分八五四を内別小並敷せし外積せしむ

環田あり外周八十間内周三十間外積何程と同

答外積四百三十七歩六分七五



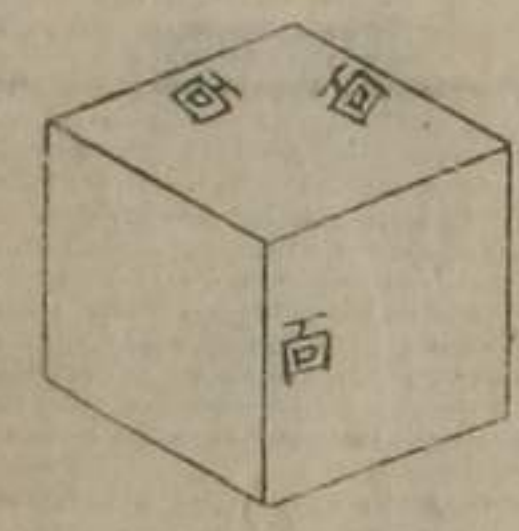
樹曰圓周法三個四六分を法として内周三十間を合

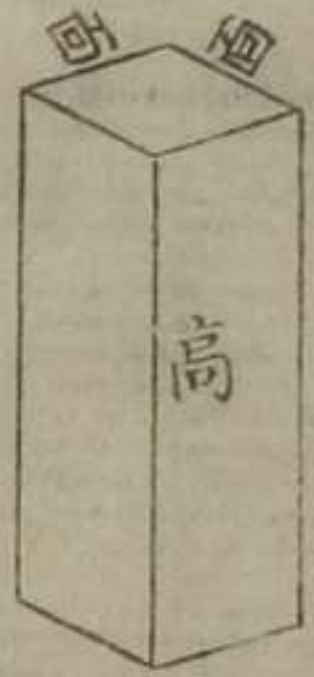
別小並外周八十間を合内別小並敷せし減り法より別外積せしむ

立方あり面十三寸積何程と同

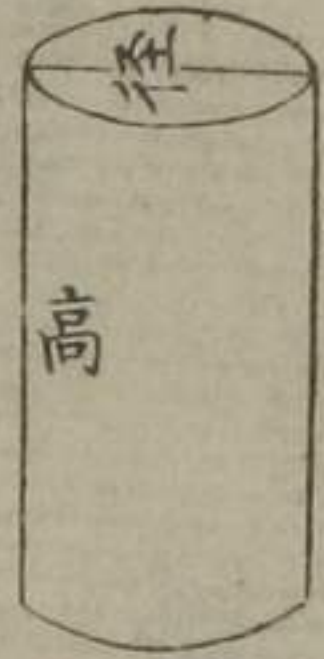
答積二千百九十七歩

樹曰面十三寸を合又面十三寸を積せしむ

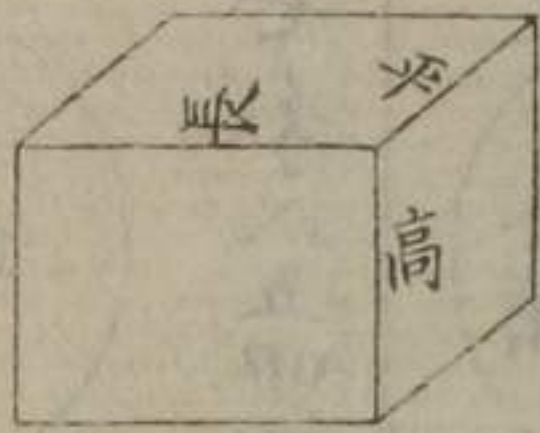




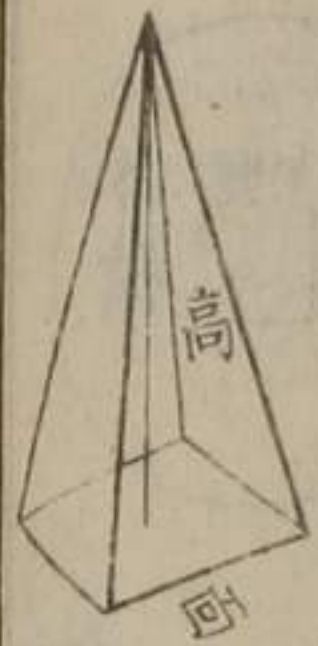
方堡塙のり面五寸高十二寸積何程と同  
答積二百五十歩



圓塙のり径四寸高九寸積何程と同  
答積百十三歩〇九七六

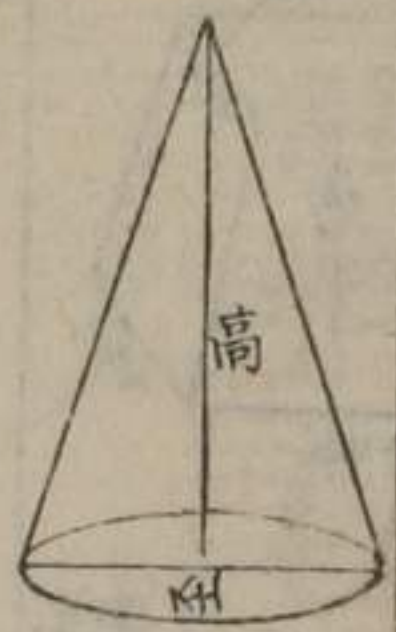


直堡塙のり長九寸平六寸高八寸積何程と同  
答曰積四百三十二歩



方錐のり面七寸高九寸積何程と同  
答積百四十七歩

柵曰面七寸とを合高九寸とを錐法三とて割積とゆる



圓錐のり径六寸高七寸積何程と同  
答積六十五歩九分七三六

柵曰径六寸とを合高七寸とを圓徑法七と八五とを錐法三とて割積とゆる

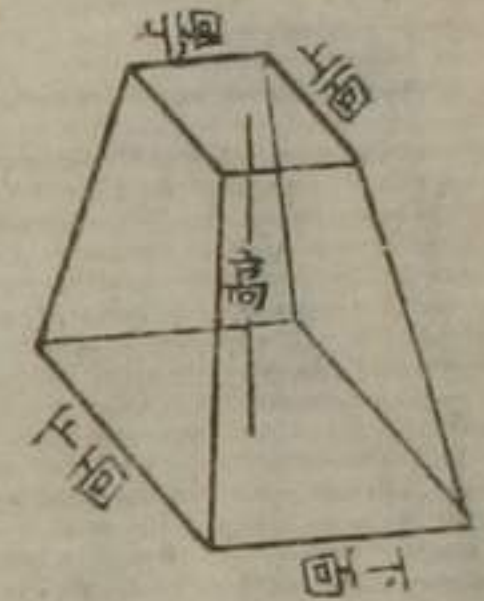


楔のり長九寸平五寸又三寸高八寸積何程と同  
答積百四十歩

柵曰長九寸と倍して又三寸と加へ平五寸とを又高八寸とを定法六とて割積とゆる

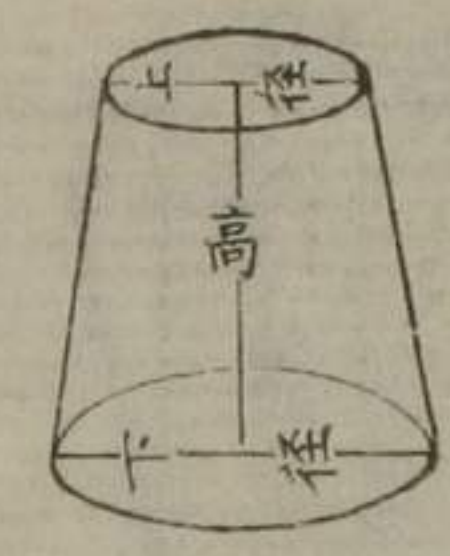


兩又のり長又十二寸短又五寸高十三寸積何程と同  
答積百三十歩



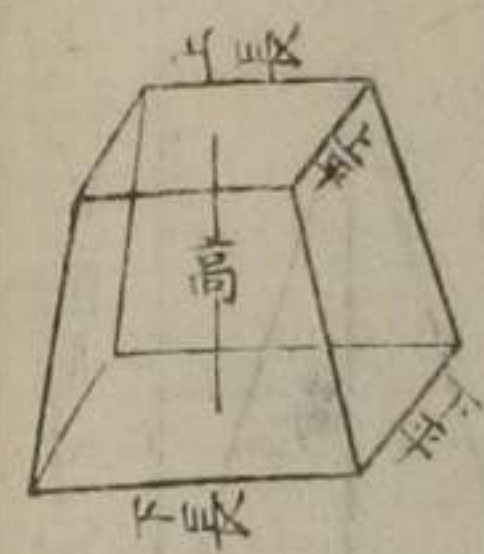
方臺のり上方面五寸下方面八寸高十二寸積何程と同  
答積五百十六歩

樹曰上方面五寸下方面八寸を別小重上方面五寸下方面八寸を加毛を合内別小重敷を引ゆへ高十二寸を定法三寸別積を清る



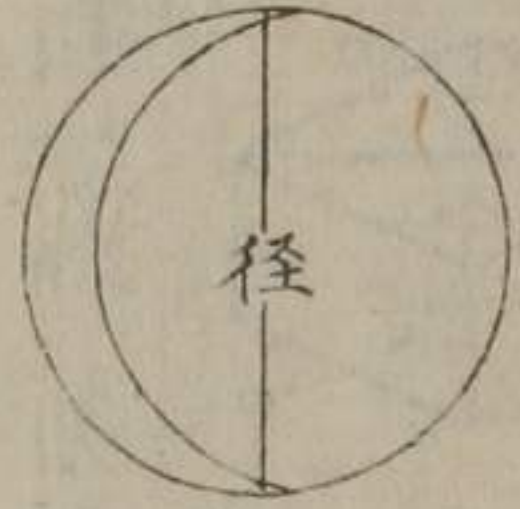
圓臺のり上径七寸下径八寸高九寸積何程と同  
答積三百九十八歩一九七八

樹曰上径七寸下径八寸を別小重上径七寸下径八寸を加毛を合内別小重敷を引ゆへ高九寸を又圓積法七分五厘を定法三寸別積を清る



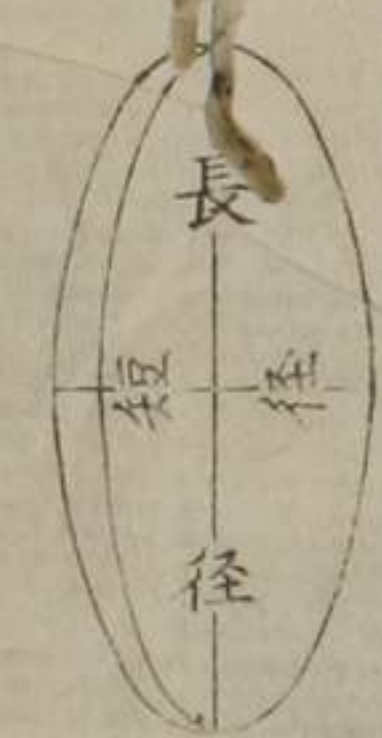
直臺のり上長三寸上平二寸下長七寸下平五寸高十二寸積何程と同  
答積二百二十二歩

樹曰上長三寸を倍して下長七寸を加へ上平二寸を別小重下長七寸を倍して上長三寸を加へ下平五寸を是へ別小重敷を加へ高十二寸を定法六寸別積を清る



球のり径五寸積及覓積何程と同  
答積六十五歩四分五厘  
覓積七十八歩五分四厘

樹曰径五寸を合又径五寸を玉積率五分三六を積を清る  
又径五寸を合圓周率を覓積を清る



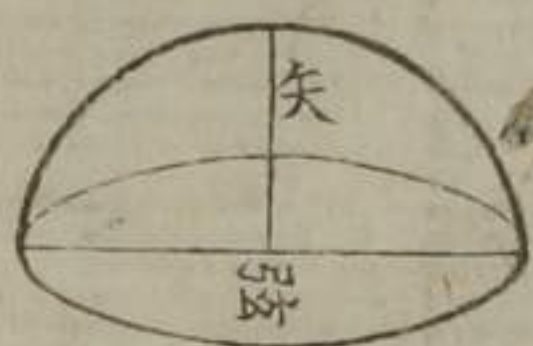
長立圓のり長径五寸短径四寸積何程と同  
答積四十一歩八分八厘

樹曰短径五寸を合又長径を是へ玉積率五分三六を積を清る  
矮立圓のり長径五寸短径二寸積何程と同



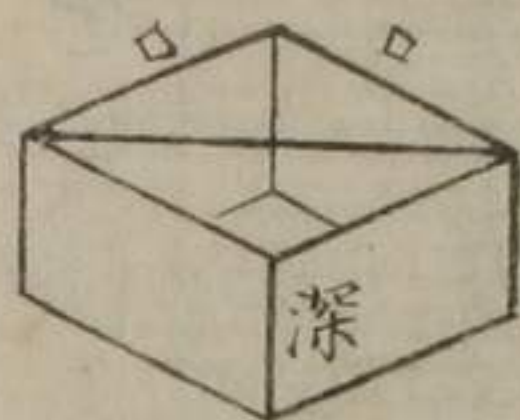


答積二十六步一分八厘  
 術曰長徑五寸とを合短徑二寸とを亦玉積率五分二三六とを積とる



球缺あり弦四寸矢一寸積何程と問  
 答積六步八分〇六八

術曰弦四寸とを合定法七合五厘とを是へ矢一寸とを合さる  
 數を加へ矢一寸とを又玉積率五分二三六とを積とる



京升口四寸九分深二寸七分積何程と問  
 答曰積六十四步八二七

術曰口四寸九分とを合深二寸七分とを積とる  
 此積一升の歩數なり是を升法とる

箱あり積一萬六千二百〇六步七分五厘是へ容る升數何程と問

答曰升數二石五斗

術曰積一萬六千二百〇六步七分五厘とを升法六十四步八二七と  
 以て割外數とる

○開平方

半九九	一一	半	二二	二	三三四半	四四	八
五五十二半	六六	十八	七七	二十四半	八八	三十二	九九四十半

方あり積百四十四步面何程と問

答面十二寸

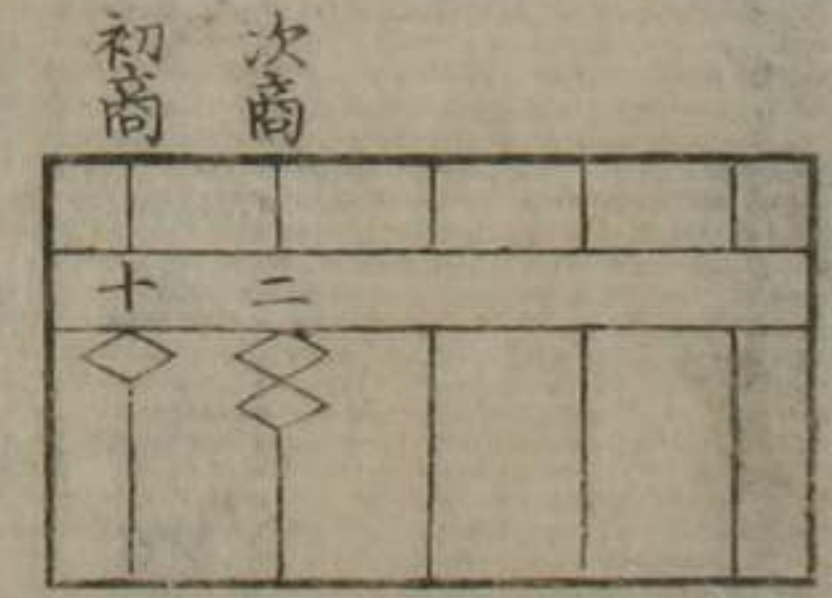
術曰積百四十四步と実さる平方小開き面とる



用法ハ次の圖の如く(い)(ろ)(ほ)の合印と順小見合せて用くべし

平方面開く圖

十	百	十	一
◇	◇	◇◇	◇◇◇
い	ろ	は	へ
実一の位をこのたより位をそろむ	位をそろむとせはひたつとす	初商を九ひきつて引ればたつとすの位とひきつて初商と立る	四進二十
	に	ほ	ち
	二一引	四進二十	二二引
		二進二十	二進二十
			初商の二十の初商十をひいて二十をひきつて初商二をひきつて



面二十寸を得る圖

若次商をひく実小残積あると見商二桁少く残積を二桁別三商をひる是と半九く小味実して引実小数をすれば次才此の如くして又次の商をひる三の商をひる図次の如く

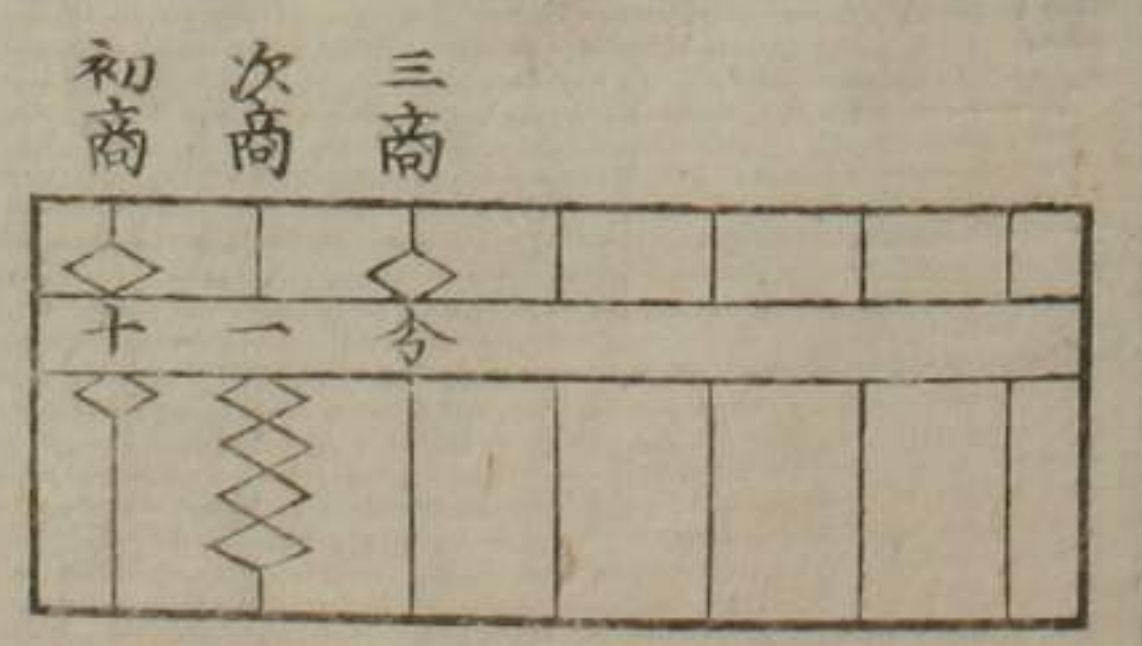
方積四千百六十。歩二分五厘面何程と問

答面六十四寸五分

開法左図の如く

平方面開く圖

十	百	十	一	分	厘
◇	◇	◇◇	◇◇◇	◇◇◇◇	◇◇◇◇◇
い	ろ	は	へ	こ	ち
実一の位をこのたより位をそろむ	位をそろむとせはひたつとす	初商を九ひきつて引ればたつとすの位とひきつて初商と立る	四進二十	二進二十	二進二十
	に	ほ	ち	こ	ち
	六進三十	四進二十	二進二十	二進二十	二進二十



帯縦開平方



積九十九歩横より縦二寸長横縦各何程と問

答縦十一寸 横九寸

初日差二寸と半して一寸と成是を合せ積九十九歩を加へ平方小用き是へ差半一寸を加へ縦より此内差二寸と引縦より

算盤見

○相應開平方

今平寸長寸の直形小相應して積二十四歩の直形と作る其長平何程と同

答 新長六寸 新平四寸

樹曰長三寸平二寸とを是と以て積二十四歩と別平方小用き法と

長三寸一法とを新長と平二寸一法とを新平と作る

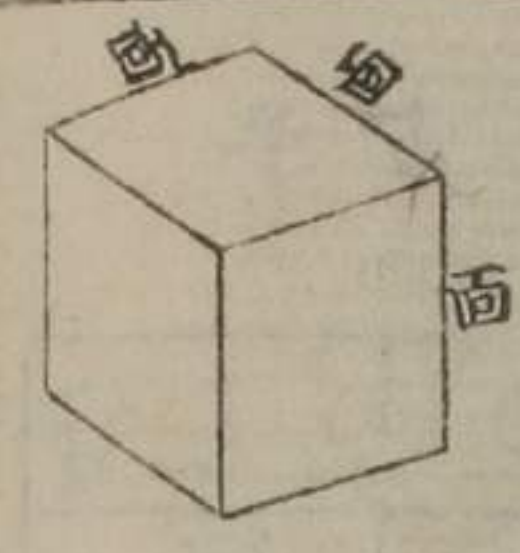
○開立方

再乘九九	一一	一一	一一	一一	一一
五五	百二十五	六六	二百十六	七七	三百四十三
		八八	五百十二	九九	七百二十九

立方何り積千七百二十八歩面何程と同

答 面十二寸

樹曰積千七百二十八歩と実と一立方小用き面と作る



立方開く圖

初商	十	百	十	一
次商	十	百	十	一
初商	十	百	十	一
次商	十	百	十	一

① 実の位... ② 初商を再乗九九... ③ 初商を再乗九九... ④ 初商を再乗九九... ⑤ 初商を再乗九九... ⑥ 初商を再乗九九... ⑦ 初商を再乗九九... ⑧ 初商を再乗九九... ⑨ 初商を再乗九九... ⑩ 初商を再乗九九...

圖の二

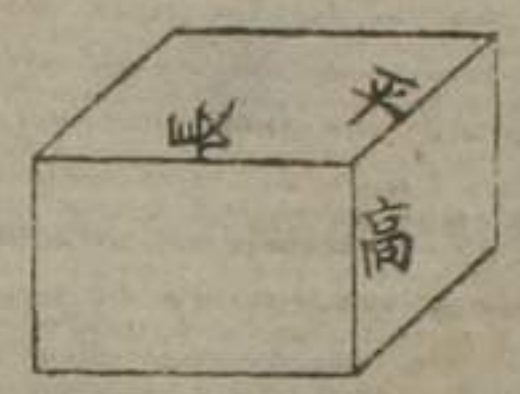
初商	十	百	十	一
次商	十	百	十	一
初商	十	百	十	一
次商	十	百	十	一

① 初商を再乗九九... ② 初商を再乗九九... ③ 初商を再乗九九... ④ 初商を再乗九九... ⑤ 初商を再乗九九... ⑥ 初商を再乗九九... ⑦ 初商を再乗九九... ⑧ 初商を再乗九九... ⑨ 初商を再乗九九... ⑩ 初商を再乗九九...

一二の圖の如く一と面十二寸と作る

算盤具

○相應開立方



今長五寸平三寸高二寸の直堡塼ちよくたか相應して積二百四十歩  
を以て新直堡塼を作る長平高各何程と問

答新長十寸 新平六寸 新高四寸

術曰長五寸平三寸を又高二寸を是を以て新積二百四十歩を別立  
方の開き法とて長五寸平三寸を新長とて平三寸を新平とて高  
二寸を新高とて

算法見安終



樂天堂佐藤氏

藏書

